

Web Fairy



Paradise

改訂：2015/5/27

第83号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第72回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第73回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第73回 WFP フェアリー作品展特別出題
- ・ 第89回推理将棋出題
- ・ 第90回推理将棋出題(改訂時)

結果発表

- ・ 第71回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第88回推理将棋出題
- ・ Fairy of the Forest #43
- ・ カピタン展示室 No.25

読み物

- ・ Fairy TopIX2014 投票結果
- ・ 透明駒のご紹介(会場健大)



2015/5

はじめに



沈下橋

今年のゴールデンウィークは前半仕事が入り 5/3 の詰備会も不参加となしややテンションが下がって おりました。5/5 より休みとなりましたので、家でごろご おするの嫌なので、ちょっとだけ早起きして高知の 四万十川に行くことにしました。同じ四国といえども 結構遠くへたすると広島に行くより時間がかかる場 所なのです。

新居浜から高速に乗り高知市経由で四万十町 中央インターまで約2時間半。四万十川と言えば有 名なのが沈下橋。雨で川が増水すると川の中に沈 んでしまう設計の橋なのです。いろいろな場所にある のでそれを見て回るのが今回の旅の目的。

家内ちよーえりが車を運転して、最初の若井沈下 橋まであと少しとなった所で・・・パイ〜ッ〜。何とスピ ード違反のネズミ捕りに引っかかってしまいました。 19 キロオーバー。切符を切られている場所がまさに 岩井沈下橋の真横。おまけに橋は無残にも決壊・・・ 私たちの楽しい旅も見事決壊、その後は愚痴 のオンパレードでした。チャンチャン。

その後食べた昼食の鮎+ご当地うどん定食の写 真がこれ↓



どうしても反則切符を入れるときかないちよーえり でした。

FairyTopIX2014 お気に入り投票ありがとうございました。結果はいかに・・・。

は

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの 投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常 のことでも研究物でも4コマ漫画からパロディ、 イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でも OKです。

感想

第83号の感想、今後の要望、ご意見等なん でも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご 協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

第72回WFP作品展及び 第73回WFP作品展

担当：神無七郎



以前もこの欄で取り上げましたが、ゴールデンウイークに筆者の地元で行われる行事の一つに「こいのぼりフェスタ」があります。川の両岸に立つ支柱にワイヤを張り、そこに大量の鯉のぼりを吊るすのです。風が吹いて、大勢の鯉たちが一斉に泳ぐ姿は、なかなか壮観です。

この催しは当初 50 匹程度から始まったようですが、年々規模が拡大し、近年は「こいのぼりフェスタ 1000」と銘打たれるようになりました。これは伝統的な鯉のぼりではなく、創作鯉のぼりが主流になってきたためです。真下からの写真をご覧ください。自由奔放ですね。



創作しているのは、主に幼稚園や保育園、あるいは老人ホームの有志です。絵柄も様々で、似顔絵、クラス・学校・施設の名前、花や果物など、思い思いのデザインが施されています。

「手前味噌」という言葉がありますが、技術的には拙くとも、風にそよぐ自分たちの手作り鯉のぼりを見るのは感無量でしょう。

伝統的な絵柄から離れている点で、これらは「フェアリーこいのぼり」の道を歩んでいるのですが、今のところ形は「鯉」を保っています。ただ、将来的には鯉以外の動物やキャラクターが空を泳ぐときが来るかもしれません。その時はまた本欄でご報告しましょう。

さて、今回の出題は第 72 回出題分の再掲と、第 73 回の新規出題です。また、別枠で特別出題もありますので、こちらもお忘れなく。第 73 回は日程に余裕がありますが、第 72 回は来月が解答締切なので、まだの方は早目の解図をお願いします。

〔第 72 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 72 回の出題は全 9 題。最初の 2 題が上谷氏、後の 7 題が変寝夢氏の作品です。相変わらずルールは多様ですが、対抗系（攻防系とも言う、普通の詰将棋のように相手に協力しないルール）のルールの作品や、長手数作品などの登場で、前回までとは少し趣が違うと思います。ルールの勘違いをしないよう、以下の説明をよくお読みください。

72-1 は本作品展では初登場の最善自玉詰。「協力」ではないので、受方は攻方玉を詰めないよう抵抗します。また、「最善」が付いているので、通常の「自殺詰」と異なり、長手数の余詰があっても不完全扱いはしません。「自殺詰」は非常に余詰み易いので、せめて長手数の余詰は不問にしないと創作は難しいと思います。

72-2 も対抗系ルールですが、こちらは「最善」が付いておらず、普通詰将棋の慣習を適用します。つまり、余詰は長手数でも不完全ですし、無駄合概念もありますし、同手数駒余りを変化として扱います。とはいえ、本作に限っては細かいことを気にする必要はありません。

72-3 はフェアリー駒 2 つ。鬘 (Lion) はもうかなりお馴染りになったと思いますが、最大の特徴は酔象が使われていることです。しかもこの酔象は成れます。酔象は成ると「太子」になり、第 2 の玉として扱われます。ただし本局では「玉」と「太子」のどちらかを取られてはいけません。中将棋では「玉」と「太子」は、どちらか一つが取られても、もう一つが生き残っていれば良いので、「太子」は心強い「助っ人」なのですが、本局では「助っ人」どころか「足手まとい」の役割を与えられます。つまり、本局はあくまで「酔象と同様の振る舞いをする駒を使った二玉詰」なのです。

なお、酔象が成れる条件は「将棋」で普通の駒が成れる条件と同じです。「中将棋」のように四段目で成ることはありませんし、不成に関連する将棋とは異なる設定（一旦不成とすると敵陣から一旦出るか、駒を取らないと成れない）も適用されません。

72-4 も酔象入り。「協力自玉詰なのに自玉がないじゃないか！」との仰せ誠にごもつとも。実は玉は途中で作るので。具体的には酔象を成って「太子」にし、それを詰めるわけです。もちろん酔象は太子に成るまでは普通の駒なので、酔象で王手を掛けることも可能です。酔象を取ることも可能ですが、取ってしまうと手数が不足します。

実はこの設定の問題は過去にも例があるので、ご覧いただきましょう。

〔参考〕小野小町『フェアリーの冗談』

(詰将棋パラダイス 1990年1月)

ばか自殺詰 12手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
								王	歩	二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
龍										九

攻方持駒 なし

受方持駒 象飛角2金4銀4桂4香4歩17

※象：酔象（成ると太子）

29龍 25象 同龍 32玉 23象 21玉

13象成 32玉 34龍 33金 23龍 同金 まで12手

(※2手目 24象も可、非限定)

酔象入りの詰将棋には、中将棋本来の酔象と同様に「玉と太子のどちらかを取り、残った方も詰めると詰み」というルール設定で作られたものもありますが、混乱するといけないので、紹介はまた別の機会にしたいと思います。

72-5 と **72-6** は同じ初形でルールが異なります。ツインとして出題しても良いのですが、手順に直接の関連はなく、「双子」というより「他人の空似」なので、個別に出題しています。「対面」・「背面」という性能変化ルールと、Camelという1対3のマスに飛ぶ八方桂。はたして相性はどうでしょうか？

72-7 も性能変化ルールと、八方桂の組合せ。ただしこちらは Zebra という2対3のマスに飛ぶ八方桂です。前の2題に比べると少し手数が長めですが、Zebra は Camel より大きく跳ぶの

である意味仕方ありません。本局を解くと金や銀という駒の有難さが良く分かると思います。

72-8 は連続協力詰にアンチキルケを組み合わせた作品。連続協力詰は受方のみが連続で指して1手詰の形を作れというルールで、受けを考えなくて良い（もちろん合駒なども出てこない）分、作る方も解く方も割と考えやすいと思います。「517+1手」という表記は、受方が連続して517手指し（517手未満でも良い）、攻方が1手で詰められる形を作れという意味です。長手数ですが、手数を見て尻込みしないで、まずは駒を動かしてみましょう。

72-9 も手数に驚かされますが、仕組みはとても分かりやすいと思います。盤上にある駒はすべて玉（ロイヤル駒）で、詰める対象は18金か21龍の「自玉」です。受方に玉がいっぱいあるので、どれに王手を掛けても良いのですが、あくまでも「自玉詰」なので、受方の玉を詰まさないよう注意してください。もちろん王手放置は禁手です。また、玉が複数あるルールは「多玉詰」と呼んだ方が良いと思いますが（今年の特別出題では「多玉」の名称を使用しました）、今回の出題では作者の投稿図にあった「二玉」のルール名を使用しています。

〔第73回作品展各題への補足説明〕

第73回の出題は全10題。内訳は上谷氏3題、変寝夢氏6題、会場氏1題です。これとは別に詰ガエル氏の作品を特別出題していますので、こちらもお忘れなく。今回は6月号の新規出題がお休みになる関係で、解答締切が一ヶ月長くなります。この期間を有効に利用してご解答ください。

73-1~73-3 は「協力」ではない「禁欲」「強欲」の作品です。「禁欲」や「強欲」の協力系ルールへの適用はかなり開拓が進みましたが、攻防系ルールへの適用はまだまだなので、これらの作品が良いサンプルとなると思います。今回は「最善」を付けていないので、通常の詰将棋の慣習が適用されます。つまり、基本的に長手数の余詰があったら不完全です。ただし、最終手余詰は不問とします。

73-4 は鬘 (Lion) と中立駒の角という2枚のフェアリー駒が使われています。自玉は詰みにくい位置にいますが、合駒と中立駒をうまく活用して詰型を作ってください。受方の持駒は標準の残り全部。つまり「飛2角2金4銀4桂4香4歩18」がまるまる合駒として使えます。他

の問題でも同様ですが、特に指定のない場合、初形に登場していないフェアリー駒が途中で登場することはありません。

73-5 は詰パラでは「鏡」と呼称される天竺ルールの登場です。果たして天竺と鬘 (Lion) の組合せからどんな手順が飛び出すのでしょうか。

73-6 は中国象棋の包 (Pao) を使った協力自玉詰。「打歩」の条件が付いているので、通常なら自玉の詰型は極端に限られるのですが、包を活用した明快な手順があります。(逆に明快な手順が出てこなかったら、きっと紛れに嵌っているはずです。)

73-7 は最善詰。受方は攻方に協力しないので、変化手順をよく確認してください。無仕掛け図ですが、持駒のナイト (騎) が強力なので、意外と易しいと思います。また、「22 零」の配置が気になると思いますが、これは利きのない駒、フェアリーチェスで言えば Dummy に相当します。フェアリーチェスの Zero (パスできる駒) と紛らわしいですが、「石」は不透過・不可侵領域を表す記号として使っているため、今回の「零」の表記にしました。いつかはこれらの記号の整理を行いたいです。当面は都度、記号の意味を付記する方式で行きたいと思えます。

73-8 はクィーンとナイトの両方の利きを持つ Amazon という駒を詰める作品です。以前「后」(飛+騎)、「姫」(角+騎) という駒を使った作品が登場しましたが、それより更に強力です。漢字表記は少し迷いましたが、女王と騎ということで、「媽」という字を割り当てました。もっと良い案があったら解答時にご提案ください。

73-9 は攻方のみが連続で指し、最後の1手だけ受方に指させ、自玉を強制的に詰めさせるというルールです。本局の場合は攻方が20手連続で指して、受方が1手で詰めるので、20+1手という手数表記になっています。王手は最終手(攻方の20手目と受方の1手)のみ掛けることができますが、途中で王手を掛けたり、掛けられたりしてはいけません。

また、ここで使われている Locust (蝗) は、以前本作品展でも登場したことがあります。「ジャンプ台となるのは敵駒だけ」、「ジャンプ台を取ってしまう」という点が Grasshopper と異なります。例えば、初手68玉などと指そうものなら、64蝗王によって「同蝗」と取られてしまいます。うっかり蝗の利きに入らないよう、気を付けて手順を進めてください。

73-10 は第63回作品展から1年ぶりの登場

となる会場健大氏による「透明駒」作品。「自玉を詰めろと言われても、玉がないじゃないか！」という抗議の声が聞こえてきそうですが、実は玉も透明になって盤上のどこかにいるのです。また、攻方は「持駒:なし」となっていますが、これは「見える持駒がない」という意味で、透明駒が持駒である可能性は排除されていません。もちろん本当に持駒がないこともあり得ます。皆さんの名推理で、見えない自玉を見事詰めてください。

解答要項

第72回分解答締切:2015年6月15日(月)

第73回分解答締切:2015年8月15日(土)

宛先:janacek789@ybb.ne.jp

(メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

WFP 作品展:今後の予定

来月は「氾濫」結果稿の作成と重なるため、WFP 作品展の新規出題はお休みさせていただきます。今後の予定は以下のようになっていますので、あらかじめご承知ください。

	5月	6月	7月	8月
第72回	再掲	結果		
第73回&特別出題	出題	再掲	再掲	結果
第74回			出題	再掲

ルール説明

※WFPのページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfpr2015.pdf>)があるので、それも参考にしてください。

【最善】

攻方はなるべく早く目的を達成するよう王手を掛け、受方はなるべくそれを妨げるよう応じる。

(補足)

いわゆる普通の詰将棋から枝葉(無駄合概念や、駒が余るかどうかで手順に優劣を付ける規則)を取り除き、攻方最短を義務化したも

の。攻方最短・受方最長のみが正解で、長手数
の余詰は不問。

【自玉詰】

詰める対象を攻方玉とする。

【禁欲】

駒を取らない手を優先する。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【二玉詰（多玉詰）】

複数の玉を使用する。

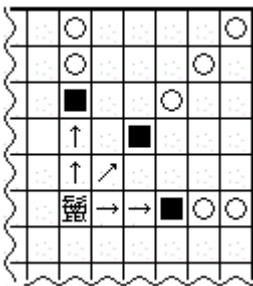
どの玉に対しても王手放置は禁手。

王手を外せなければ詰み。

【Lion】（鬣）

フェアリーチェスの Lion。

クィーンの利きの方向にある駒を1つ跳び
越えその先の任意のマスに着地する。着地点
に敵駒があれば取れる。

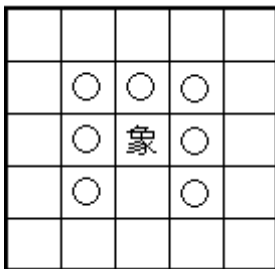


(○が鬣の利き。

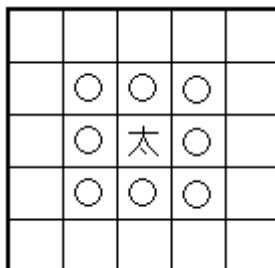
■は敵または味方
の駒。○の地点が埋
まっていると、その
先には跳べない。)

【酔象】（象）

中将棋の酔象。後方以外の周囲7マスに進め
る。成ると太子（太）になり、二枚目の玉と
して使える。



(○が象の利き)



(○が太の利き)

(補足)

- 1) 酔象が成る条件は将棋で成る条件と同じ。
中将棋のように敵陣に入るときや、敵陣で敵
駒を取るときしか成れなかったり、四段目で
成ったりすることはない。

2) 中将棋等で太子ができた場合、一方を取って
他方を詰める必要があるが、今回の出題はど
ちらかを取れば良い。

【背面】

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利き
が入れ替わる。

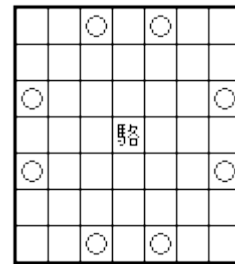
【対面】

敵駒と向かい合わせになったとき、互いに利
きが入れ替わる。

【Camel】（駱）

Camel はフェアリーチェスの駒。

3対1の方向に跳ぶ八方桂。

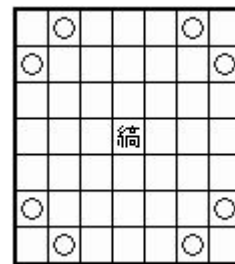


(○が駱の利き)

【Zebra】（縞）

Zebra はフェアリーチェスの駒。

3対2の方向に跳ぶ八方桂。



(○が縞の利き)

【アンチキルケ】

駒取りがあったとき取った方の駒が、最も近
い将棋での指し始め位置に戻される。

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

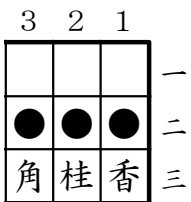
- 1) 成駒は成ったまま戻る。
- 2) 戻り位置に駒があったり、自玉に王手が掛
かったりするため、戻れない場合は戻らな
い。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香（成駒も含む）が5筋で駒取りを
行い、複数の戻り先候補がある場合、戻る
位置を選択できる。片方にのみ戻れる場合
は強制的にそちらに戻る。

【連続協力詰】

受方が連続して指して最短手数で受方の玉
が1手詰となる形を作る。ただし、途中で王
手を掛けてはいけない。

【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。
飛び越すことは可能。



例えば左図で、
12 香や 11 香成は不可。
22 角や 11 角は不可。
11 桂成や 31 桂成は可。

【強欲】

駒を取る手を優先する。

【中立駒】(「𠄎」あるいは「n 駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。
横向きの字か横に n を付加して表記。

(補足)

取り方や動かし方は以下の細則に従う

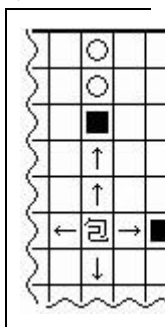
- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」の記事を参照してください。

【天竺】

玉(王)の利きが王手をした駒の利きになる。

【パオ】(包)

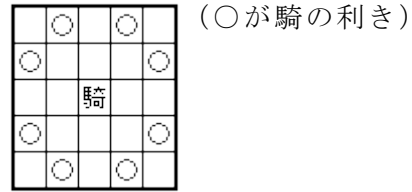
中国象棋の駒。動くときは飛車と同じ。駒を取るときは必ず一つ駒を飛び越えて取る。



(■は敵か味方の駒、○は取るときに動ける場所。矢印は駒を取らないときに動ける場所。)

【ナイト】(騎)

ナイトはチェスの駒。八方桂。

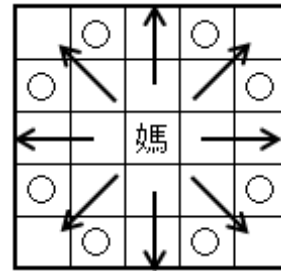


【零】

利きのない駒。石(●)と同様不透過だが、取ることは可能。フェアリーチェスの Dummy に相当 (Zero ではない)。

【Amazon】(媽)

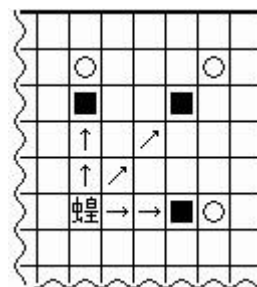
フェアリーチェスの Amazon。
クィーンとナイトを合わせた利きを持つ。



(○に着手する、または矢印の方向に走ることができる。)

【Locust】(蝗)

フェアリーチェスの Locust (蝗)。
クィーンの利きの方向にある敵駒を跳び越えその先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る。



(○が蝗の利き。
■は敵駒。■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていると跳べない。)

【連続白玉詰】

攻方のみが指定手数連続して指し、受方が1手で白玉を詰めざるを得ないようにする。ただし、途中で王手を掛けてはいけない。

【透明駒】

位置・種類が不明の駒。
着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

→透明駒の詳細及び例題は詰将棋パラダイス 2013 年 11 月号の「透明人間の逆襲」または「詰将棋における透明駒の説明」(<http://tsumesyogi.blogspot.jp/2014/03/blog-post.html>)等を参照してください。

《第72回 WFP 作品展》(再掲)
 解答締切：2015年6月15日(月)

■ 72-1 上谷直希氏作
 最善自玉詰14手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				飛			王	一
							王	二
				飛				三
					驥			四
							桂	五
								六
								七
								八
								九

持駒 金2 桂

■ 72-2 上谷直希氏作

禁欲詰15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
			角				王	二
							王	三
						香		四
							王	五
					王		桂	六
								七
								八
								九

持駒 香

■ 72-3 変寝夢氏作

二玉協力詰5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
				王				四
								五
								六
	入							七
								八
								九

攻方持駒 香鬘

受方持駒 象

※鬘: Lion

象: 醉象 (成ると太: 太子)

■ 72-4 変寝夢氏作

協力自玉詰6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
							王	三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 鬘象

※鬘: Lion

象: 醉象 (成ると太: 太子)

■ 72-5 変寝夢氏作

背面協力詰9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
							王	二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 駱

※駱: Camel

■ 72-6 変寝夢氏作

対面協力詰9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
							王	二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 駱

※駱: Camel

■ 72-7 変寝夢氏作

対面協力詰 13手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							王			一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 縞

※縞：Zebra

■ 72-8 変寝夢氏作『シールドマシン』

アンチキルケ連続協力詰 517+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

手		と	と	●				と	●	一
糸	●	●	糸	と		糸	糸	と		二
●	と	と	●	●	糸	●	●	と		三
と	糸	と	と	と	●	●	●	と		四
と	●	糸	●	と	と	●	と	糸		五
と	●	●	●	糸	と	と	●	●		六
と	●	と	と	●	●	●	●	王		七
と	●	と	●	と	●	●	金			八
●	と	と	●	●	と	歩	歩	王		九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※●は不透過・不可侵の領域

■ 72-9 変寝夢氏作『玉環』

二玉協力白玉詰 4626手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王	王	王	王	王	●	●	龍			一
王	●	●	●	●	王	●				二
王	●	●	王	王	●	●				三
王	●	王	●	●	●	●		王		四
王	●	●	王	王	王	●	●			五
王	●	●	●	●	●	●		●		六
王	●	●	王	王	●	王	●	●		七
王	●	王	●	王	●	王	●	金		八
王	王	●	●	王	王	王				九

攻方持駒 なし

受方持駒 金

※盤上の駒（玉龍金銀）はロイヤル駒

受方持駒の金は通常のコ

●は不透過・不可侵の領域

《第 73 回 WFP 作品展》

解答締切：2015 年 8 月 15 日（月）

■ 73-1 上谷直希氏作

禁欲詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				馬		王				一
										二
					王		金	王		三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 香

■ 73-2 上谷直希氏作

禁欲詰 19手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
								と	王	二
							歩	王		三
									王	四
									桂	五
									角	六
										七
								王		八
										九

持駒 角

■ 73-3 上谷直希氏作

強欲詰 13手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
							馬			四
								王		五
										六
								飛		七
										八
										九

持駒 金桂2歩

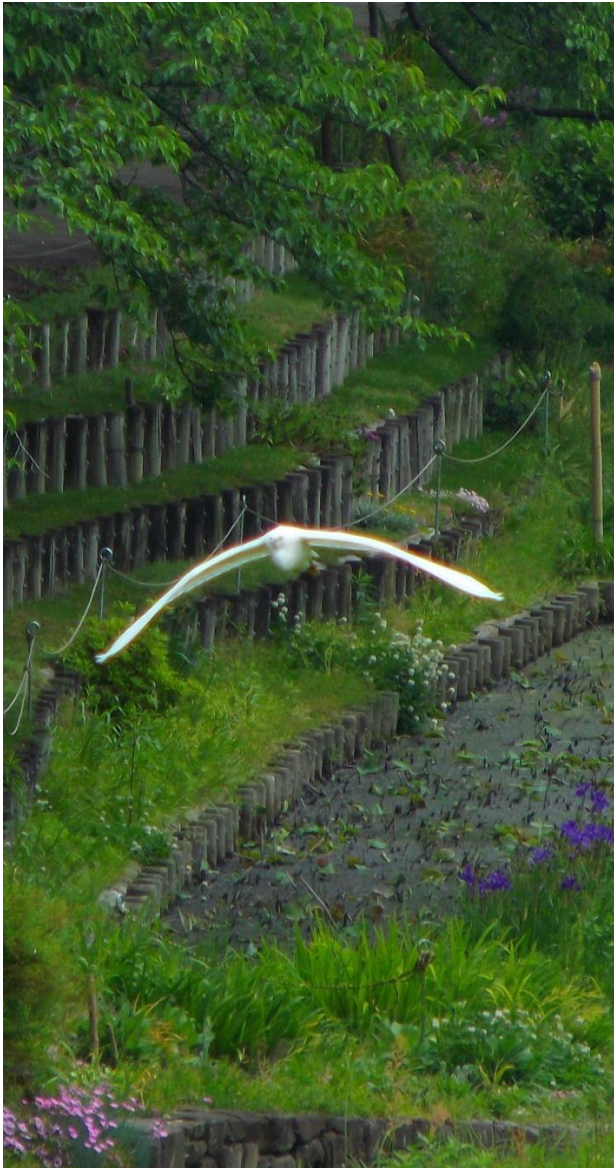
■ 73-10 會場健大氏作
協力自玉詰6手

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
									龍	八
										九

持駒 なし

※透明駒 攻方2枚、受方2枚

以上



第73回WFP作品展特別出題

担当：神無七郎

WFP 作品展向けに、詰ガエル氏より超長手数作品が送られてきました。この作品は通常のWFP 作品展の枠内で扱うには規模が大きすぎるため、「特別出題」として別枠で解答を募集することにします。全手順を書き下すことは不可能。手順の略記すら可能かどうか分からないという前代未聞の作品ですが、本誌読者の皆様の挑戦をお待ちします。

まずは、その作品とルール設定をご覧ください。

詰ガエル氏作『永劫回帰』

縦シリンダー盤安南多玉協力千日手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									香	香
									香	香
									香	香
									香	香
									香	香
									香	香
									香	香
									香	香
									香	香

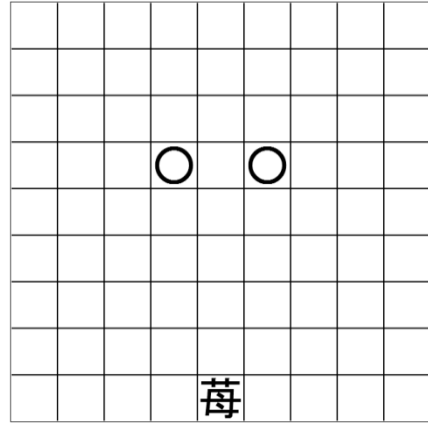
攻方持駒 香∞

受方持駒 香∞

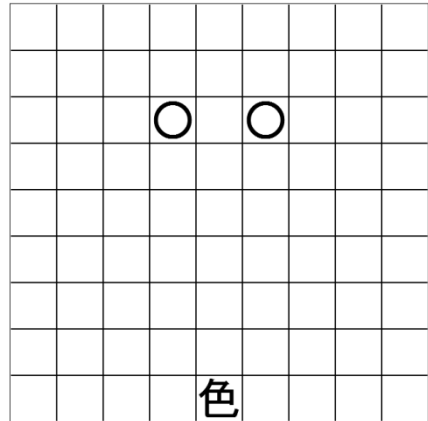
※色：1対6の大桂馬、莓：1対5の大桂馬
盤上の駒はすべて玉

ルール

- 縦シリンダー盤・安南・多玉・協力千日手。
- 盤面に配置されている全ての受方の駒はロイヤル駒である。
- 安南ルールの効果は縦シリンダー盤に対しても適応される。つまり 29 に受方の駒が存在するとき 21 の受方の駒は 29 にある駒の動きになる。
- 持駒無限大のときは、駒を何枚消費した場合でも持駒は変化していないと見做す。
- 莓は左右に 1 前に 5 進んだ地点へ移動することができる駒である。
- 色は左右に 1 前に 6 進んだ地点へ移動することができる駒である。



(○が莓の利き)



(○が色の利き)

もちろん、投稿図には手数が記されていますが、今回の出題にあたっては手数を伏せさせていただきます。

なお、本局で使われているオリジナルのフェアリー駒、「莓」と「色」は八方桂ではなく大桂馬です。桂馬と同様、前方向にしか進めないことに注意してください。縦シリンダー盤なので、どの駒も行き所のない駒にはなりません。

冒頭に述べた通り、本局の解答を全手順書き下すのはおそらく不可能ですので、解答は「手数」と、手順の「最初の 20 手と最後の 20 手」を答えてください。手数や手順を求めるために、コンピュータを使用しても構いません。「不成」の表記は省略可です。

また、作者と相談して本局のルール設定や機構に慣れるための「ミニチュア版」を 4 題用意しましたので、こちらも解答をお寄せください。(4)は手数が長いので、本題と同様、手順の最初の 20 手と最後の 20 手を答えてください。(1)～(3)は手順が分かる解答であれば、どんな書き方でも構いません。

(1)

縦シリンダー盤安南多玉協力千日手 126手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								馬	馬	一
								皇	皇	二
								皇	皇	三
								皇	皇	四
								皇	皇	五
								皇	皇	六
								皇	皇	七
								皇	皇	八
								皇		九

攻方持駒 香∞
受方持駒 香∞

※色：1対6の大桂馬、盤上の駒はすべて玉

(2)

縦シリンダー盤安南多玉協力千日手 2760手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								馬	馬	一
								馬	香	二
								皇	皇	三
								皇	皇	四
								皇	皇	五
								皇	皇	六
								皇	皇	七
								皇	皇	八
								皇		九

攻方持駒 香∞
受方持駒 香∞

※色：1対6の大桂馬、盤上の駒はすべて玉

(3)

縦シリンダー盤安南多玉協力千日手 162手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								香	香	一
								皇	皇	二
								皇	皇	三
								皇	皇	四
								皇	皇	五
								皇	皇	六
								皇	皇	七
								皇	皇	八
								皇		九

攻方持駒 香∞
受方持駒 香∞

※色：1対5の大桂馬、盤上の駒はすべて玉

(4)

縦シリンダー盤安南多玉協力千日手 10800手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								香	香	一
								香	香	二
								香	香	三
								皇	皇	四
								皇	皇	五
								皇	皇	六
								皇	皇	七
								皇	皇	八
								皇		九

攻方持駒 香∞
受方持駒 香∞

※色：1対5の大桂馬、盤上の駒はすべて玉

解答要項

解答締切：2015年8月15日（土）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp（メールの件名に「解答」の語句を入れてください。）

ルール説明

【縦シリンダー盤】

一段目と九段目の同じ筋同士が繋がった盤。

【協力千日手】

先後協力して最短手数で初形に戻す。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【多玉】

複数の玉を使用する。どの玉に対しても王手放置は禁手。

【持駒：∞】

指定駒を無限に持っていることを示す。

（本局では双方が香を無限に持っている）

以上



推理将棋第89回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第89回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？・推理将棋入門 をごらんください。解答、感想はメールで2015年5月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第89回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1題でも解けたらぜひご解答ください。

今月はチャンプさんの連作「美野樫9兄妹」シリーズからの出題です。町の将棋大会の予選を突破した美野樫兄妹は、いよいよ本戦に進みます。前回出番のなかった隆二、八重、九美も初登場。上級は手数は長いですが、攻め方全着手8筋なので取り組みやすいはずです。

以下の特集を企画しております。ご投稿よろしくお願ひします。

第91回：9手詰1条件特集→6月下旬出題

第94回：94問題特集→9月下旬出題

■本出題

89-1 初級 チャンプさん作 美野樫9兄妹の一局(その4) 9手

使いにくい筋は2筋と9筋。攻めの急所とる手を推理しよう。

89-2 中級 チャンプさん作 美野樫9兄妹の一局(その5) 10手

同じ筋には指せないなので効率のよい攻めが必要。玉に迫る1筋2筋の手を推理しよう。

89-3 上級 チャンプさん作 美野樫9兄妹の一局(その6) 19手

先手は8筋の着手だけ。8筋の桂打ちで詰む形を推理しよう。

「美野樫9兄妹」シリーズ

※美野樫家の将棋ルール：名前につく漢数字＝着手筋の担当

■締め切り前ヒント (5月13日頃コメント欄に掲載 NAO)

89-1 初級 チャンプさん作 美野樫9兄妹の一局(その4) 9手

健一「さあこの調子で本戦も突き進むぜ、次は誰が行く？」

圭五「よっしゃー！もうアップは万全だぜー」

隆二「そろそろ俺も行くかな」

九美「次はウチも混ぜてえー」

六実「連戦連勝の立役者、私たち双子も行きま〜す」

七海「・・・というわけで自動的にわたくしも・・・」

四郎「・・・双子なのに何でああも違うもんならろね」

八重「・・・・・・・・」

七海「わたくし達が先手の模様です」

・・・対局開始・・・

源三「ん？もう終わったんか？」

圭五「たった9手で無敵艦隊の勝利だぜー！」

六実「またまたみ〜んな一手ずつ指したわ〜」

九美「でも成る手が無かったよねえー？」

七海「・・・察するに4手目の銀の手が悪手かと」

隆二「ま、俺たちに敗北の二文字は無いぜ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・9手で詰んだ

・先手は2、5、6、7、9の筋に一手ずつ着手した(順不同)

・4手目は銀の着手

・成る手はなかった

89-2 中級 チャンプさん作 美野樫9兄妹の一局(その5) 10手

健一「みんな絶好調だな、次は男性陣5人で行くか」

一同「OKー！」

六実「え〜っ！無敵シスターズはお休みなわけ〜？」

七海「わたくしは構いません・・・」

八重「・・・・・・・・・・」

四郎「僕たちが後手に決まったよ」

・・・対局開始・・・

九美「おにい達もう終わったみたいだよおー?」

圭五「10手で完勝!見たか兄ちゃん達の強さをー!」

源三「またみんな一手ずつ指しよったな」

隆二「成る手は無かったが、気にすることはないな」

四郎「分析によると初手の4筋、3手目の5筋の手がマズかったみたい」

健一「よーし、このまま勝ち進むぜ」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・後手は1、2、3、4、5の筋に一手ずつ着手した(順不同)
- ・初手は4筋、3手目は5筋の着手
- ・成る手はなかった

89-3 上級 チャンプさん作
美野樫9兄妹の一局(その6) 19手

健一「さあて、次はどんなメンバーで行くかな・・・」

八重「ちょっとーっ!私の出番はー!?!」

四郎「そういえば・・・八重ってまだ・・・」

健一「あっ・・・ああ、悪い悪い、じゃあ次は八重と・・・」

八重「私ひとりで十分よ!皆は休んでて!」

隆二「いやちょっと待て、いくらなんでもそれは無謀だろ」

七海「わたくしもそう思います、みんなで力を合わせて・・・」

八重「いいから、私に任せなさいっ!!」

一同「はっ・・・はい・・・」

圭五「あちゃーこりゃキツイ試合になるぜー」

九美「八重ねえ、大丈夫かなあー?」

源三「まあ負けてもエエやないか好きにさせたろ」

・・・対局開始・・・

八重「さてと、私の先手ね、こんな弱そうな相手、恐れるに足りずだわ」

八重「はー?何それ!アンタ最初は歩を動かさずって習わなかったの?」

八重「19手で詰みね、成る手が無くて手数は掛かったけど楽勝ね」

八重「最後の桂打ちで弾(持ち駒)は全て使い切ったわ」

八重「そういえば私が85同歩と指したら慌てて玉を初めて動かしてたわね」

八重「一体何に怯えてたのかしら」

六実「え〜ホントに勝っちゃった!八重ちゃん、すご〜い!」

健一「つ・・・つええ・・・ていうか八重って怖ええ・・・」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

(条件)

- ・19手で詰んだ
- ・先手は8筋の着手のみ
- ・2手目は歩以外の着手
- ・▲85同歩という手に対して初めて玉を動かした
- ・最終手の桂打ちで先手の持ち駒は無くなった
- ・成る手はなかった

推理将棋第90回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第90回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2015年6月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第90回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1題でも解けたらぜひご解答ください。

推理将棋第90回出題 担当 NAO

今月は第90回に因んで「9手詰難度ゼロ」の易問特集です。やさしい初級問題が並んでいますので奮って解答ください。

■本出題

90-1 初級 鈴木康夫さん作

三人の見た棋譜 9手

一枚の駒を2回打つ。駒の受け渡し方を推理しよう。

90-2 初級 渡辺秀行さん作

歩の遅早 9手

歩が成るのは9手目より前。7手目に歩が成る形を推理しよう。

90-3 初級 NNNさん作

浅い攻め 9手

先手は3手目以降3段目のみ。4回の3段目着手を推理しよう。

■締め切り前ヒント (6月13日頃コメント欄に掲載 NAO)

90-1 初級 鈴木康夫さん作

三人の見た棋譜 9手

A「駒を打つと言うのは日本将棋独特のルールだよな。打たれて取られてを繰り返せば、所有者が何度も変わる」

B「将棋では別に珍しくないよ」

A「でも9手と言う短手数で詰んだ棋譜なのに、ある特定の一枚の駒が二回も打たれたんだ。その棋譜には不成の手はなかった」

B「僕を見た棋譜もそうだったよ」

C「君たちもかい！僕もだよ」

A「じゃあ、三人とも見た棋譜は同じだったのかな。僕を見た棋譜は小駒を打つ手はなかったよ」

B「僕を見た棋譜は後手陣の外に駒を打つ手があったよ」

C「僕を見た棋譜は一段目への駒打ちはなかったよ」

A「じゃあ、全員が別の棋譜をみていたんだね」

さて、三人の見た棋譜とはどんな将棋だったのだろうか？

(A~C 共通条件)

- ・9手で詰んだ
- ・特定の一枚の駒が二回打たれた
- ・不成の手なし

(個別条件、A, B, C 各々の手順を求める)

- ・(A)小駒を打つ手なし
- ・(B)四~九段目の何処かへ駒打ちあり
- ・(C)一段目への駒打ちなし

90-2 初級 渡辺秀行さん作

歩の遅早 9手

「9手で詰められちゃったよ。最初に62金としたのがダメなのかな？」

「途中で歩が成ったのが勝負の分けめじゃないか？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・2手目は62金
- ・最終手以外で歩が成った

90-3 初級 NNNさん作
浅い攻め 9手

「隣の将棋は短かったなあ。9手だよ、9手。」

「先手は3手目以降3段目の手だけだったよね。」

「そうだね。敵陣には深入りしない慎重派だね。」

「後手もグレードの高い駒から順に指したりしなければもう少し粘れたのにね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・3手目以降先手は3段目の手のみ
- ・後手はグレードの高い駒※から順に指した

※注 駒グレードの高い方から順に玉飛角金銀桂香歩。本問後手はそのうち4種を着手。

第71回WFP作品展結果 担当：神無七郎

第71回WFP作品展の結果を報告します。解答者は全9名。以下に今月の解答成績をまとめますが、総じて好成績でした。なお、71-1はツインなので2点で計上しています。

〔第71回WFP作品展成績〕（敬称略）

○：正解 ×：誤解 -：無解

解答者名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
中山省吾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
変寝夢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
詰ガエル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
真T	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	10
やよい	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	10
DD++	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	9
一乗谷酔象	○	○	○	○	-	-	-	○	○	×	8
占魚亭	○	○	○	○	-	-	○	○	-	×	7

今回は担当のミス等で、いくつか問題を生じていました。

まず、71-7は過去に同一作がありました。そのため解答者全員正解として扱っています。

次に71-9は出題時のミスで「受方持駒：なし」が脱落。訂正告知前の図での解答も正解とする予定でしたが、おかげさまで無事正図への解答が寄せられました。

最後に71-10。残念ながら余詰がありました。詳しくは本文で説明します。

■ 71-1 上谷直希氏作（正解9名）

協力詰 3手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四									王	
五										
六									王	
七										
八										
九										

攻方持駒 飛2

受方持駒 残り全部

※a)本図

b)後手が先手を詰ます（駒余り可）

【ルール】

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【解答】

a)先手が後手を詰ます

24 飛 13 玉 14 飛 まで 3手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三									王	
四								飛	飛	
五										
六									王	
七										
八										
九										

持駒 なし

b)後手が先手を詰ます

27 銀 17 玉 16 金 まで 3手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四									王	
五										
六									王	
七								銀	王	
八										
九										

持駒 飛2

【作者のコメント】

このアイデアの発端はもちろん第65回WFP作品展のたくぼん氏の協力詰です。盤面の対称性にこだわりました。5段目を境界に線対称な盤面、それをひっくり返したとしても同様の作意手順が成立すると予想されますが、盤面と同時に駒台もひっくり返るからこそ手順が変わってくるのですね。持駒の非対称性を際立たせるために、舞台は先後対等である必要があると考えました。

欲を言えば、55を中心に点対称な出題図（将棋盤の左右対称性に頼らずとも先後の対称性が明瞭に表現される盘面）にしたかったのが本音です。ただ先後の双方を唯一解にするのはなかなかうまくいかないようで…。

【解説】

同じ初形で手番のみ変えて、各々の手順を求める出題形式は、チェスプロブレムでは「Set Play」と呼ばれます。詰将棋版 Set Play では、後手番から始める手順は本局の b)のように「駒余り可」とするか持駒制限をせねばなりません。また、持駒が多いと余詰防ぎが大変なので、手順にしわ寄せがきています。a)b)どちらの手順もベタベタ駒を打っているだけなのは、そうした創作難度の高さの反動でしょう。ただ、b)で角や香を使わず、金銀のみで詰めるのは少し意外性があると思います。この出題形式は必然的に双玉になりますが、玉以外の追加配置なしで成立したところが本局の特筆すべき点です。

普通詰将棋では駒余りは不完全なので、余分な持駒がある作品を出題・解図する機会はありません。敢えて言えば一部の大道棋や、「香先香歩」のような「不利先打」の構想がそれに近いでしょうか。筆者は本局を詰将棋版 Set Play というより、「駒余り可」の有用な使用方法を示唆した作として解釈したいと思います。

【短評】

中山省吾さん

この配置で限定されるんですね。

変寝夢さん

後手の持ち駒もコントロールした方がいいと思う。

占魚亭さん

どちらも簡単な手順ですが、bの方に時間がかかりました。

やよいさん

後手は飛を持たないので手順を限定できるんですね。

真Tさん

意図がよく分かりませんでした。

たくぼんさん

飛2枚を先手の持駒にすることで後手からの余詰を防いでいるのが素晴らしい。私の作に比べ、先手後手の持駒を移動させなくていいので完成度が高いと思います。

DD++さん

攻め方が持ち駒全部というのは斬新でした。飛以外なんでも持っているのに詰ます手順は1つしかないとは。

■ 71-2 上谷直希氏作（正解9名）

協力詰 7手

										一
										二
										三
										四
										五
					王					六
										七
										八
										九

持駒 桂 歩

【解答】

86 龍 76 桂 48 桂 67 玉 68 歩 同桂成
56 龍 まで 7手

(詰上り)

										一
										二
										三
										四
										五
					龍					六
										七
										八
										九

持駒 なし

【作者のコメント】

7手で中合を動かすのは普通詰将棋の王道中の王道であり、フェアリーにそのまま輸入するのが気が引けるテーマです。

では、ばか詰らしい合駒を動かす理由は何だろう？そう考えてまず思いついたのが本作です。

ある地点を新たに埋める手（本作でいう 68 同桂成）は、おおよそ協力行為と呼ぶことができるのではないのでしょうか。ひとまずばか詰らしさは確保できたと思います。

類作の存在が予想され、結局は（合駒制限など）目につく構図的縛りがないままに表現できたことが一番のセールスポイントになってくるのかもしれませんが。

【解説】

協力詰では単体の「中合」は珍しくありませんが、中合を動かすと手順に高級感が生じます。本局は中合を動かす意味付けを退路封鎖に求めたもの。短手数での協力詰では、強い合駒をさせて取りたくなりますが、弱い合駒で逆用する手順はなかなか渋い味わいですね。更に 68 地点を埋めるため、桂を 68 ではなく、遠い 48 に打つ 3 手目も手順の渋さを引き立てます。

初形の 77 角は紛れを増やすための配置。他の駒（歩香桂）でも構わないのですが、角の配置で初手 48 桂などの紛れを生じています。

本局は「合駒を動かす」という理屈から入った作品の割に簡潔な配置で収まり、紛れも豊富で上手くできていると思います。

【短評】

中山省吾さん

2 手目に 66G と打てたらなあ、打てないしなあ。と、作意順を放棄して角取る順を考える。76 桂に愕然。あまりの手の見えなさにびっくり。

変寝夢さん

こういった歩打は入れたくないんですよ。フェアリー（特に短編）では繋ぎの手がかしこ以上に甘く見えてしまうから。

占魚亭さん

48 桂から考えて苦戦。

詰ガエルさん

手が広くてとても苦労しました。最終的には 71-3 と類似点があるというヒントを見て、もしかして、合駒を動かすのかと考えたら解けました。

やよいさん

合駒の桂が動く。

先に解けた 71-3 との共通点を考えつつも、冒頭 2 手に悩まされました。

真Tさん

合駒を動かす。上手い。

たくぼんさん

合駒を動かす作品は最短 7 手なので実に無駄のない構成。

☆合駒させて動かすだけなら最短 5 手（攻方の合駒で良ければ 3 手）だと思います。

DD++さん

79 歩の配置から 56 龍までと当たりをつけましたが、68 の塞ぎ方でかなり悩みました。



■ 71-3 上谷直希氏作（正解 9 名）

協力詰 9 手

									一
									二
									三
									四
									五
					飛			歩	六
							王		七
								桂	八
						香		龍	九

持駒 なし

【解答】

29 龍 28 金 38 龍 17 玉 47 龍 37 金
同龍 27 金 28 金 まで 9 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
					遊			采	六
						龍	采	王	七
							金	桂	八
						香			九

持駒 なし

【作者のコメント】

「空間を埋めるための移動」とくれば、次のテーマは必然的に「空間を空けるための移動」となります。そのための 28 金合ですね。

4×4の単玉で表現できたのは自分でもちょっと意外でした。

今回投稿した7手詰と9手詰の2作で、自分なりにテーマの対比を表現してみました。きちんと伝わるように表現できていれば嬉しいのですが。

【解説】

こちら（中合ではないものの）合駒を動かす狙いの作品。意味付けは「空間を空けるため」。前局が「空間を埋めるため」合駒の種類が限定されていたのと呼応しています。合駒を稼ぐための龍のソッポ行きなど、個々の手はありますが、最終手 28 金の実現のため2手目 28 金が限定されるストーリーは良いですね。

「合駒を動かす」意味付けは他にもいろいろある（利きを通すため、退路を空けるため、駒不足を補うため…等々）のですが、フェアリーならではの意味付けがないか、読者の皆さんも考えてみてください。

本局の合駒は中合ではなかった分、前局より地味な手順になりました。対比を徹底するならば、こちら中合で構成した方が良かったかもしれません。

【短評】

中山省吾さん

こちらはすぐ見えた。

共通点は、合駒が動く。でしょうか。

変寝夢さん

かしこで出てきそうな手順。うまくまとめているといえばそうだが、甘いといえないこともない。むしろもっと欲望、エネルギーを感じる作品をどんどんリクエストしたい（andernach のみたいな）。

占魚亭さん

とても素直な作品。

詰ガエルさん

これは手が狭かったので考えやすかったです。

*71-2 と 71-3 の比較に関して

類似点は、龍で発生させた合駒を、再度動かす点でしょうか。相違点は大量にあると思います。ほとんど関連性のない2つの作品という印象だったので、共通点と相違点の考察を促した意図は、あまりよく分かりませんでした。

やよいさん

合駒の金が動く。

2度の金合は割と判りやすかったです。

真Tさん

合駒で発生した駒の移動合。これも上手い。

たくぼんさん

金を合駒させた龍が自ら動いてその金を移動させるのが見事。

DD++さん

龍が強すぎるのでなるべく遠くへ動かして平穩に金入手。

啓蒙作として素晴らしい出来だと思います。

☆71-2 と 71-3 の共通点「合駒を動かす」は分かりやすいですが、相違点（埋める⇔空ける）は目に見えない分、伝わりづらかったようですね。



■ 71-4 変寝夢氏作（正解 9 名）

連続詰 11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
					ス	王			三
									四
					歩			銀	五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【ルール】

•連続詰

攻方が連続して指して最短手数で受方の玉を詰める。ただし、詰むとき以外に王手を掛けてはいけない。

【解答】

14 銀 23 銀生 32 銀生 43 銀生 54 歩 53 歩成
54 と 55 と 45 と 23 歩 34 と まで 11 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
					銀	王	歩		三
						と			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

詰形は見えやすいと思います。

【解説】

連続詰は片方の手番のみが指すルールです。「応手」がないので薄味の作品になるのでは、という疑問はごもっとも。でもそこは作者の工夫次第。過去には森茂氏がこのルールで見事な入替パズルを作っていました。この種の作品を交互に指す普通のルールで実現しようとする、

一方の手に意味があり、他方は機械的に応じるような構成になります。このような場合は、連続詰系のルールで表現した方がスッキリと表現できるのです。

本局は連続詰を「入替パズル」ではなく、詰上りへの最短路を問う「最短経路探索問題」として仕立てたもの。連続詰では最もポピュラーな主題です。本局では「43 と」と「45 歩」の2枚を取りたいのですが、「45 歩」から先にとったのでは、余分に手数が掛かります。先に「43 と」を取って、銀ではなく途中から「と金」にバトンタッチするのが巧い着想。これを実現するために、王手を掛けないよう、銀が不成で玉の背後を回る細心の注意が必要になります。詰上りは普通詰将棋専門の方には馴染みがないかもしれませんが、本誌の読者ならたくぼんさんの強欲煙でお馴染の形でしょう。

【短評】

中山省吾さん

詰め上がりはこれしかない。
無駄なく歩を回収。

占魚亭さん

45 歩を何で取るかがポイント。
と言っても、銀で取る順は限定できないので、歩（と金）で取るとすぐに分かりますが。

やよいさん

詰め上がり形はこれしかありませんが、45 歩の入手方法に少考。

真Tさん

例題が大きなヒントになりました。
詰上りが他にないので考えやすかったです。

たくぼんさん

先に 45 歩を取りに行くと非限定が多いので解決。

DD++さん

そこにあっても詰みに役立たないし余詰防止にもならなさそうな駒は取るために置いてあるのが見え見え、という素人考えで解きましたが本当に他の用途はないんでしょうかね。

一乗谷酔象さん

と金で歩を取るのが早い。

☆連続詰は Onsite Fairy Mate で配布している NoCheck5.exe でも一応は扱えますので、このルールに興味を持った方はご自分でも試してみてください。

■ 71-5 変寝夢氏作 (正解 6 名)

縦シリンダー盤協力詰 5 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
				王					四
									五
								龍	六
								桂	七
									八
									九

持駒 角2

※通過成可

【ルール】

• 縦シリンダー盤

一段目と九段目の同じ筋同士が繋がった盤を使用する。

• 通過成可

元位置や移動先が可成地点でなくても、可成地点を通過するだけで成れる。

【解答】

99 角 35 玉 79 角 46 龍 25 角成 まで 5 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
					王	馬			五
				龍					六
								桂	七
									八
角									九

持駒 なし

【作者のコメント】

トラス盤よりは考えやすいと思うのですが。

【解説】

縦シリンダー盤で利きが顕著に増えるのは角です。縦シリンダー盤上に置かれた角は、通常の将棋盤では端で途切れるはずの利きが延長され、逆側から出てきます。しかも将棋盤は筋が奇数なので、縦の筋を繋げた時、利き筋がずれ、元の利きと重複しません。そのため、1枚の角を盤に置いただけで、もう1枚の角が筋違いにいるような感覚を生じます。言わば「仮想二枚角」ですね。二枚飛車が強力であるように、縦シリンダー盤の「仮想二枚角」も極めて強力。本局ではその角の力を最大限に活用します。

作意の2枚の角打ちはもちろん限定打。まず初手の 99 角が 99→81→72→63→54→45→…と利いて、99 から 44 への利きと合わせて小さな「壁」を作っていることを確認してください。79 角は直接的な王手と同時に、79→61→52→43→34→25 を睨み、25 角成（ここで通過成を行う）の二段活用を見据えた狙いの一手。16 龍を移動合で使い、25 地点から利きを外せば狙いの 25 角成が実現します。初形の印象では、16 龍は壁駒の役割が想定されるだけに、この移動合を含めた詰型は想定しにくいのではないのでしょうか。

【短評】

中山省吾さん

角の軌道を研究してから挑む。
玉が広くてなかなか詰まなかった。

詰ガエルさん

龍を動かすのを思いつくまでが大変でした。

やよいさん

盤上、角の効く地点に歩を立てて並べながら解きました。

真Tさん

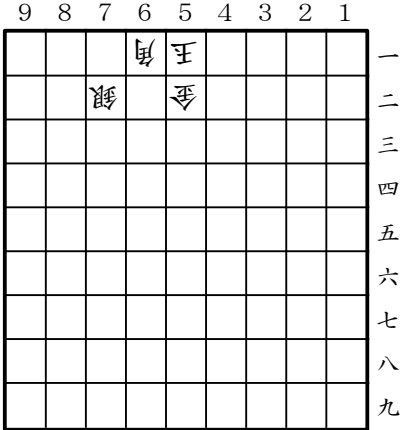
角の効きがチカチカします。

たくぼんさん

龍が動くとは想定外でした。

■ 71-6 変寝夢氏作 (正解 4 名)

協力詰 7手



持駒 蜚 G

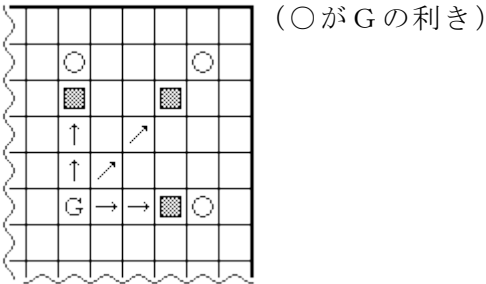
※G：グラスホッパー

蜚：NightRider Hopper

【ルール】

• グラスホッパー (G)

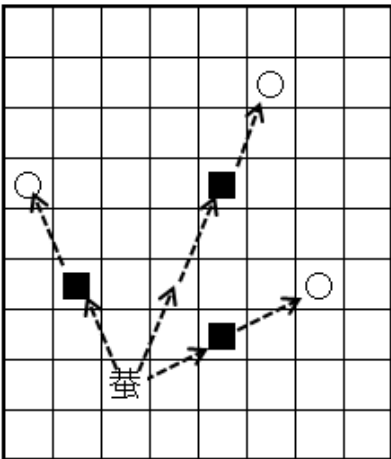
フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○がGの利き)

• NightRider Hopper (蜚)

ナイトライダーの線上で、ある駒を1つ飛び越した次の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。細則はグラスホッパーと同様。

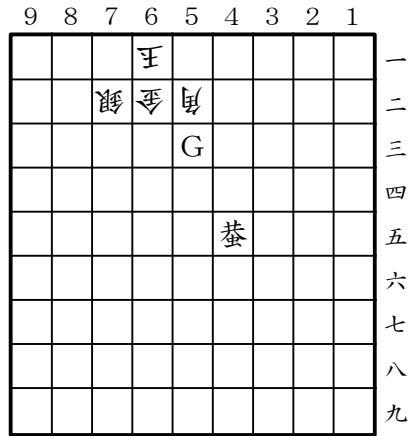


(○が蜚の利き。■は敵または味方の駒。)

【解答】

53G 62金 71G 52角 53G 61玉
45蜚 まで 7手

(詰上り)



持駒 なし

【作者のコメント】

ホッパー 2 枚の連係はかなり強力です。

【解説】

盤上に攻駒のない無仕掛図式、持駒は利きがスカスカなホッパーが2枚。普通は盤上にある駒のどれか（できれば金か銀）を取るような手順を考え、次に合駒を取る手順を考えるのが相場ですが、そんな平凡な方針では詰みません。

作者の狙いは余分な駒は稼がず、ホッパー2枚だけで詰める詰上りです。味方の駒をジャンプ台にしたホッパーの王手は、ジャンプ台の除去ができないので極めて強力です。また、利きの方向が異なるホッパーは利きやジャンプ台の重複が起こらないので、タッグを組むと更に強力になります。

前回の 70-5 を思い出してください。これは Equihopper 2 枚で詰める作品でしたが、「味方の駒をジャンプ台にする」「利きの方向が異なるホッパーの組合せ」(Equihopper は利きの方向が状況によって異なる) という2つの特徴は本局と同じです。70-5 では足りない利きを攻方の「と金」が補っていましたが、本局では受方の「角金銀」が壁として足りない利きを補い、玉を閉じ込めています。この方がホッパーの特徴が良く出ており、面白いと思います。

なお、最終手 45 蜚の代わりに 37 蜚とすると、45 に合駒されて詰みません。グラスホッパーも NightRider Hopper も2枚の駒は跳び越えられないのです。

本局は正解者数（実質3名）を見てお分かりの通り、今回の作品展で一番難解でした。かなり紛れが多いですし、NightRider Hopper を最後まで温存する構成も意外で、作者の狙いに気付くのは大変だったと思います。

【短評】

中山省吾さん

この持ち駒では合駒が必要だろうと高をくくり失敗。今月で一番苦労した。

詰ガエルさん

詰め上がりが分かってても、その形にもっていくのが大変でした。

真Tさん（※無解）

解けませんでした。
Gも蜚も全然働いてくれません。

たくぼんさん

54G 63金 52蜚 42玉 72G…の筋が本筋に見えて苦労しました。最終手で捕まっているとは気付き難い。

■ 71-7 変寝夢氏作 ※同一作あり

天竺最善詰5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									蜚	王
									蜚	

持駒 桂香G
※G：グラスホッパー

【ルール】

- 天竺
玉（王）の利きが王手をした駒の利きになる。
- 最善詰
攻方は受方がなるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。（補足）
いわゆる普通の詰将棋から枝葉（無駄合概念

や、駒が余るかどうかで手順に優劣を付ける規則）を取り除き、攻方最短を義務化したもの。攻方最短・受方最長のみが正解で、長手数数の余詰は不問。

【解答】

41G 31玉 43桂 同玉 42香 まで 5手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
					G		蜚			一
					香	蜚				二
					王					三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

〔変化〕2手目 31合は 23桂まで
〔紛れ〕3手目 23桂は最終 13玉で不詰

【作者のコメント】

天竺でホッパーを使用してみた。

【解説】

無仕掛図からG桂香の三連打。締めは天竺詰では定番の香打ですが、玉の頭ではなく、背後に香を打つのが奇妙な感覚です。ホッパー系の駒を使うと、性能変化ルールで見られるような、「打った駒と王手する駒が違う」という捻った手順を味わうことができるわけです。

これに華を添えるのが、3手目 43桂の捨駒。23桂だと盤上に桂が残り、最終手に対し 13玉とジャンプする受けが残ります。退路を生じないよう敢えて取られる位置に打つわけですね。更にこの手は2手目に合駒したときに 23桂と打つ変化との対比で妙手感が増すはずでしたが……既報の通り、本局は宮谷保可楽氏作「鏡詰5手（G使用）」（詰将棋パラダイス、1997年11月）と同一作でした。（作者自身からの報告。）フェアリー駒と天竺の組合せで同一作はないだろうと高をくくっていたのが失敗でした。

【短評】

中山省吾さん

天竺の G はやたら強い。

占魚亭さん

23 桂だとダメなんですね。

詰ガエルさん

3 手目 23 桂だと詰まないのがいいですね。
2 手目の変化手順に 23 桂が現れるのでなおさらです。

やよいさん

初め 3 手目 2 3 桂としてしまいました。

真Tさん

初手限定打が好手。詰め上がりも面白い。

たくぼんさん

どこかで見た気がしました。

DD++さん

なるほど、23 桂を残すと逃げられるわけですね。グラスホッパー奥深し。

☆結局、なんとなくでも前例に気付いたのは、たくぼんさんお一人でした。一応フェアリーデータベースの方には対策がされましたが、フェアリー駒は必ずしも表記が統一されていないので、チェック漏れの確率は通常の問題より高くなります。同一作や類作のチェックは今後も頭の痛い問題になりそうですね。

■ 71-8 変寝夢氏作（正解 9 名）

ボカスカ協力詰 5 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
							王		四
									五
							龍		六
									七
									八
									九

持駒 桂2

【ルール】

•ボカスカ

盤上にある味方の同じ種類の駒は、すべて同時に同一方向に動かす。

(補足)

- 成駒と生駒は別種とみなす
- 動かさない駒があれば動かせるだけ動かす。
- 成・不成は 1 枚毎に自由。持駒も同じ種類の駒はすべて同時に打つ。
- 歩だけは例外で打つのも動くのも単独。
- 棋譜の書き方は、右上銀、下 2 飛（飛を 2 つ引く）等と書くことにする。成りを指定するときは、上 3 香(23,33)成、等と書く。（これはすべての香車が 3 マス走って 23 と 33 に来た 2 枚だけが成った、の意味）打つときは、(23,33,24,34)桂、のように書く。1 枚だけ動く、または打つときは、一般的な記法（32 金など）で書く。

【解答】

(46,47)桂 23 玉 桂右(35,34) 12 玉
右桂(22,23)成 まで 5 手

(詰上り)

									9
									8
									7
									6
									5
									4
									3
									2
									1
									一
								王	二
								王	三
									四
									五
								龍	六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

実際に王手をかけている駒は、かわりばんこで最後は両王手。

【解説】

成桂 2 枚で両王手。安南詰の話でしょうか？
いいえ、ボカスカルールです。

無仕掛図なのでまずは桂を打つしかありませんが、ボカスカルールでは反則になる場所であれば、打ち場所は自由に選べます。王手をするため 1 枚は 46 桂ですが、もう 1 枚はどこに打てば良いでしょうか？ 26 龍に目がくらんで

38 や 18 に桂を打つと王手が続きません。王手の継続と玉を盤の端に追うことを考えると、もう1枚の桂の打ち場所は最も自然な 47 に決まります。逆に、複数の持駒をなるべく離して打つのはボカスカルールだと「妙手」になりそうですね。

1筋に玉を追うと龍の利きが厳しそうですが、実は何の問題もありません。ボカスカルールでは複数の駒が同時に動くので、飛び道具がなくても、成桂ですら両王手ができるのです！

本局は桂2枚が交互に王手し、最後は両王手になりますが、小駒成駒の両王手自体は前例があります。

【参考】花沢正純『邪魔な助太刀』
(将棋パズル 1986年5月3日)

ボカスカ詰 15手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					ス	王		一
					ス	ス		二
						ス	桂	三
							香	四
						桂	香	五
								六
						桂		七
								八
					桂			九

持駒 なし

桂右上(23生) 22玉 21圭 同玉
桂右上(23生) 22玉 21圭 同玉
桂右上(23生) 22玉 21圭 同玉
11桂成 同玉 香↑3(両成) まで 15手

あまり前例を知らないのので何とも言えませんが、ボカスカで果たして何重王手が可能なのか。限界に挑む作品も見てみたいと思います。

【短評】

中山省吾さん

桂馬の圧力。最後は両王手。

占魚亭さん

表記はこれでいいでしょうか。

46 に打った桂と連携させるにはと考えると、すんなり解けました。

☆表記については杓子定規に考えても仕方ない

ので、どんな手か分かれば正解としています。本稿でも普通に書けるところは極力普通の表記にしています。

詰ガエルさん

普通にやっても詰みそうにないので、ボカスカならではの詰まし方を考えたら解けました。

やよいさん

有無を言わさぬダブル桂成の両王手。

真Tさん

これが5手で詰むんですね。
ボカスカ詰おそるべし。

たくぼんさん

安南の様な詰上がり。楽しい一作。

DD++さん

これはまたすごい両王手があったもの。

■ 71-9 変寝夢氏作 (正解8名)

ボカスカ協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				皇				一
		皇						二
	皇						王	三
								四
								五
								六
								七
								八
			王				皇	九

攻方持駒 香

受方持駒 なし

【ルール】

• 協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【解答】

19香 18馬 同香 22玉

88角 香上(57生,78成,88成) まで 6手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
									二
									三
									四
									五
									六
				皇					七
	卒	卒						香	八
			王						九

攻方持駒 なし
受方持駒 角

【作者のコメント】

4手目23玉で角打(78)は香上(89成、78成、57生)となり78玉で不詰。

【解説】

ボカスカルールでの「走り」にスポットライトを当てた作品。

序奏で角を入手するまでは必然の流れ、この角を受方の香の「群れ」に取らせ、自玉を詰めます。ボカスカで駒が「走る」とき基本的には同じ距離を走るの、元の位置関係が保存されます。そうすると都合が悪いのが7・8筋の香の位置。これが元の位置関係を保ったまま成るとすると、78杏・89杏の形になってしまうので詰みません。

そこで位置関係を変えるのが88角の限定打。「動かせない駒があれば動かせるだけ動かす」という規定が駒の位置関係を変えてくれるので、78杏・88杏という都合の良い形を作れます。ここで5筋の香を不成で移動しておくのが当然とはいえ好手。ボカスカで成・不成は1枚ごとに選べるのです。

7筋の杏に紐を付けるだけなら、79杏・89杏の形でも良いのですが、これだと57香不成のとき68に、57香成のときに59に逃げ道が空いてしまいます。4手目23玉ではなく22玉なのはこの理由です。

捨駒で位置関係を変更する…ボカスカルールならではの限定遠打の意味付けですね。

【短評】

中山省吾さん

再出題にギリギリ気付いて良かった。角を取らせて香を一段下げる順が見えにくい。

☆中山氏からは早めに解答をいただいていたので、本来はもっと早く原稿の誤記に気付くべきでした。今回はわざわざ再解答をしていただき、本当にありがとうございます。

詰ガエルさん

持ち駒歩角の4手詰とかにしてみると余詰がでてしまうのでしょうか？

☆真意は作者に聞くしかありませんが、おそらくは詰上り玉と香のみで統一したかったのだと思います。

やよいさん

槍3本が同時に降ってくる迫力。

真Tさん

香を止めるための88角がいいですね。

たくぼんさん

理由付けが目新しい角打ですね。

DD++さん

取らせれば難しいこと考えなくても普通に88で止まるじゃないか！と気づいた延長の締め切り15分前。9筋が意味ありげに空けてあるのを深読みしすぎたようです。

☆DD++さんは当初5手目から「91角、香6上[57,78,88](78,88)成」という解答でした(91角は99角の誤記)。ボカスカルールの「動かせるだけ動かす」は、盤の端や、盤上の駒で動きが止められることを想定してのルールで、王手放置を避ける位置に止まるという意味ではないのですが、こういう発想もあるのかと少し感心しました。

一乗谷酔象さん

8筋だけ1路ずらす仕掛け。



■ 71-10 変寝夢氏作 (正解 7 名) ※余詰

協力自玉詰 4手

				王			王	
		鬣						

持駒 n飛

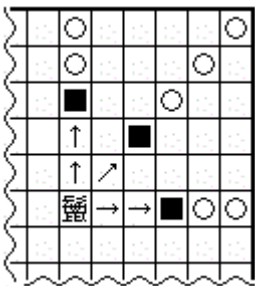
※鬣：Lion、持駒の飛は中立駒

【ルール】

• Lion (鬣)

フェアリーチェスの Lion。

クィーンの利きの方向にある駒を1つ跳び越えその先の任意のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。



(○が鬣の利き。
■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。)

【解答】

32n 飛 65 飛 72n 飛成 61 飛 まで 4手

(詰上り)

				飛	王		王	
		龍						
		鬣						

持駒 なし

【作者のコメント】

双方飛を打って移動。

軌跡が交差するところが好み。

【解説】

端玉に二枚飛車というのは協力自玉詰の定番ですが、それは飛車が中立駒であっても変わりません。二枚飛車の詰上りでは、一枚が王手、もう1枚が退路封鎖の役割を果たしますが、中立駒で自玉に王手を掛けさせたのでは、最終手に中立駒を動かして逃れる可能性が大きい(もちろん例外はあります)ので、持駒の中立駒の飛に退路封鎖の役割を担って貰います。もう1枚の飛は合駒で発生させて、移動するという例のパターンですね。

こうして、双方飛を打って移動という手順で自玉の詰みを探すことになるのですが、受方玉に睨みを利かせているのが Lion なので、利き筋上の駒数を0~2の間で調整し、利きのオン・オフを切り替えます。その切り替え手順を利用して飛を好位置に動かすわけですね。作意表面では飛車のみが動くので、まるで Lion が「黒幕」のような存在に見えます。

さて、今まで飛車の横利きで詰めることを前提に解説をしたのですが、縦の筋で、つまり最終手 54 飛で詰める筋はないのでしょうか？

縦の筋で詰める場合は、5・6筋以外に、4筋も抑えなくては行けないので、無理…と思っていたのですが、実はこの筋で余詰が成立していました。

(余詰)

65n 飛 43 飛 66n 飛 54 飛 まで 4手

本作品展では中立駒はフェアリー駒扱いです。これは中立駒が「既存の駒が中立駒の性質を帯びる」のではなく「新たな駒として追加される」ことを意味します。つまり受方にはまだ2枚飛車が持駒として残っているので、この余詰が成立します。指摘者はDD++氏でした。作者はうっかり受方の飛を1枚減らして検討していたそうです。修正は容易なはずなので、余詰に惜しい余詰です。

【短評】

中山省吾さん

二枚飛車?の形になるのは想像できた。

それでも最終手 54 飛の筋も魅力的で、なかなか悩んだ。

占魚亭さん（※誤解）

4三n飛、3二飛、4二n飛不成、3一飛まで4手。
初手、43か32かで少考。
手番なので王でn飛は取れないわけですね。

☆占魚亭さんは残念ながらルール解釈で誤解。
ルール説明にある通り、中立駒はどちらの手番でも取ることができます。昔は「中立駒は取れない」という設定の作品もあったのでややこしいですが、本作品展での中立駒は先後どちらから見ても「敵駒」の扱いです。

詰ガエルさん

パズルらしい手順で楽しめました。

やよいさん

70-10は全くダメでしたが、今回は解けているような気がします。

真Tさん

Lの開き王手(?)で飛を連続で動かのが面白い。

たくぼんさん

6手ならいろいろあるのに4手は大変。

DD++さん

65n飛、43飛合、66n飛、54飛合 まで
たしかn飛は通常の飛2枚とは別に存在する
ルールですよ?

☆はい、その通りです。中立駒を標準の駒とは別に追加された駒として扱う設定（これ自体は妥当だと思います）を忘れていました。

☆この他に一乗谷酔象氏から「65n飛 32飛 63n飛成 31飛まで」の解答がありました。これは42玉の受けが残っており、不詰です。



【総評】

中山省吾さん

4月は忙しいので、短手数がちょうど良かった。少しは慣れてきたかな。

変寝夢さん

今月は見た目から気楽に解けました。

たくぼんさん

同一作出題はびっくりの出来事でした。
裸玉、双裸玉ならともかくあの形でぶつかる
とは・・・。

DD++さん

ざっと見た時はもしかしたら全題解答狙えるかもと思ったのですが、全然そんなことはありませんでした。

☆今回は短編特集ですが、「第72回」「第73回 & 特別出題」と超長編を含む出題が続きます。
「第72回」は通常通りですが、「第73回 & 特別出題」は解答募集期間がヶ月分長くなる（半期に一度のお休みが入るため）ので、その期間を有効活用して難問に挑んでください。

以上



Fairy of the Forest #43 結果発表

- 2015年02月20日：課題発表：(協力詰)
- 玉の移動面積1以上9以下
- 2015年04月15日：投稿締切
- 2015年04月20日：出題
- 2015年05月15日：解答締切
- 2015年05月20日：結果発表

結果発表

【今回の解答者】(敬称略、到着順)
(○は全題正解者)

- 神無七郎、やよい、○隅の老人B、
- 占魚亭、○たくぼん

■ 43-01 たくぼん 協力詰 15手

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 金

88金 同玉 98金 89玉 99金 78玉
89金 同玉 98銀 88玉 97銀 99玉
88銀 98玉 99金 まで 15手

(詰上り図)

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

作者—こんなのしかないんですが…。

☆ということでしたが、幕開けにはほどよかったです。

やよい—珍しく一目でスッキリ解けました。

☆と、気持ち良く解いてもらいました。

七郎—「狭い所でチマチマと」というヒントがあつたにも関わらず、7手目から88金、68玉…と進める手順を読んでしまいました。桂を活用したい心理が働いたせいでしょうか。

☆広い方に追ってはダメですね。

占魚亭—98地点への3度の着手が印象に残りました。

☆金と銀の2度では？ あ、玉も入っているのか！ 還元玉。

隅の老人B—詰めれば、「なあ—んだ」の手順だが、解くのに結構考えました。一手一手に味あり、です。

☆最後は97金を取っての詰上り。

■ 43-02 小林看空 協力詰 25手

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

17金 同玉 28金 26玉 37金 17玉
18歩 28玉 38金 29玉 28金 19玉
29金 同玉 38角 18玉 29角 17玉
18歩 16玉 38角 27金 同角 26玉
36金 まで 25手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							龍		四
				飛	香	歩	香		五
				歩	金	王			六
				香		角			七
				香			歩		八
				王	桂				九

持駒 なし

作者一初手をどちらから行くか考えるくらいです。まあ何とか還元玉としましたが

☆作者にとっては気の乗らない課題だったようです。無理を言って、出品していただきましたが……。

たくぼん一初手 17か 37か…まああとからやり直せるからどっちでもいいんだけど。紛れもなく楽しい作品。

☆初手が唯一の紛れでしょうか。

七郎一さて、左右どちらの金を使うか……第一感の 17 金で正解でした。2筋に歩が打てないので、代わりに金を働かせる手順が面白い。

やよい《無解》一25手より短く詰んだと思ったら、攻方 25歩が。

占魚亭一還元玉と攻方角のレントラウフ。軽快な駒繰りが楽しかったです。

☆2枚の金を捌いた後は、27角の活用を考えます。結局、玉も角も元の位置に戻ります。

隅の老人B一好きと根気で金合を発見。「狭い所でチマチマと」、成る程、成るほどのヒント？です。

☆最後は合駒の金を取っての詰上り。

■ 43-03 神無七郎 協力詰 63手 (受方持駒なし)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							王		五
					科	香	歩	歩	六
					香	王	ス	ス	七
				角	香	ス	ス	と	八
					香	ス	ス	馬	九

持駒 桂歩

28と 同と寄 38歩 同玉 29馬 37玉
 38歩 同と寄 19馬 28と直 29桂 同と
 右上 38歩 同玉 29馬 37玉 38歩 同
 と寄 19馬 27玉 37馬 18玉 27馬 29
 玉 38馬 18玉 29馬 27玉 18馬 37玉
 38歩 同と 19馬 27玉 37馬 18玉 27
 馬 29玉 38馬 18玉 29馬 27玉 18馬
 37玉 38歩 同桂成 19馬 27玉 37馬 18
 玉 27馬 29玉 38馬 18玉 27馬 29玉
 18馬 39玉 17馬 38玉 39歩 37玉 29
 桂 まで 63手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							王		五
						香	歩	歩	六
						香	王	馬	七
				角	香				八
					香	歩	桂		九

持駒 なし

作者一狭い所でチマチマと…という課題に沿って作った作品です。38地点ではがす趣向手順を元に、密集形に仕上げました。

☆トリは七郎氏の趣向作。ハガシを主体にした手順ですが、馬の複雑な運動も相俟って、一筋

縄では行きません。

やよい《無解》—途中で金を剥がすための駒が足りなくなり、ギブアップ。

占魚亭—趣向性とパズル性を併せ持った快作。
17とを取るのに少々てこずりました。

☆単なる繰り返しではなく、剥がす順番とその方法も考えないといけない点で、謎解きの面白さが味わえます。

たくぼん—と金の固まりもあつという間に一掃。無駄のない手順だが唯一解が信じられない作品。

☆39歩を打つために39のスペースを空けるのがポイントです。この形から手順限定とは、確かに驚きです。

隅の老人B—「馬と桂と歩のコンビで詰む」、この予想は当たったが、46桂を手に入れるのに大苦勞。63手の長手順、これまた、狭い所でチマチマとです。

☆ハガシの定番ですが、最後は入手した桂で玉を仕留めます。

【総評】

七郎—百鬼夜行のWFP作品展と比べて、こちらは憩いの森。気楽に取り組める反面、作品数が少ないのが残念です。

☆憩いという面で本欄の目的は果たされているとは思いますが、でも、作品がもっと集まるといいんですが……。

やよい—02および03は全く歯が立たず、無解です。

☆前回に引き続き、ご解答ありがとうございます。

隅の老人B—5月の連休のある日、外出もせず
に3題に挑戦。約2日間で3題を攻略。嬉しいな、です。でも、解答書きが面倒で、これがなかなか出来ません。もうすぐ締め切りの5月14

日、ようやく書き終えての解答メール。

☆解答書きが面倒という人もきつっているのでは
ようね。略記可とかも考慮してみますか。

たくぼん—メンバーの固定化は問題かなあ。新しい人望む。

☆全くそのとおりです。ううむ。

Fairy of the Forest #44 課題発表

- 2015年05月20日：課題発表：(協力詰)
邪魔駒消去
- 2015年07月15日：投稿締切
- 2015年07月20日：出題
- 2015年08月15日：解答締切
- 2015年08月20日：結果発表

■ 課題発表

今回のお題は、最も基本的な詰手筋の一つである「邪魔駒消去」とします。普通詰将棋ではありふれていますが、協力詰ではどこまでの表現が可能か、チャレンジしていただきたいと思っています。

多くの方々のご投稿をお待ちしています。

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

カピタン展示室 No.25

カピ展 No.25 しまぎろう 入選8回

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
										四								
										五								
										六								
										七								
										八								
										九								

持駒なし

キルケルール：

(双方共、玉以外の)駒が取られると指将棋においての初期位置に戻る(複数あるときは取ったマスから最も近い位置)戻せない場合は、取った側の持駒になる。

成駒が取られた場合は、生駒になって戻ります。5筋で金銀桂香が取られた場合、左右いずれに戻すかは、取った側が選択できます。

本図の場合、48金に同龍と取ると金は49に復活します。

(「48金、同龍/49金、」と表記します)また、48金を同玉と取った場合は49に龍がいて戻せないで、金は後手の持駒になります。

協力詰(ばか詰)：

先手後手協力して、最短手順で後手玉を詰ます。

ルールを少し変えた将棋(詰将棋)は、フェアリーチェス(変則チェス)にちなんで、フェアリー将棋(フェアリー詰将棋)と呼んでいます。名前だけでなく、チェスから取り込まれたルールも多く、キルケルール(circe)や協力詰(helpmate)もその一つ。

協力詰(ばか詰)は歴史も古く、比較的知られていますが、キルケルールは知らない方も多いと思います。おもちゃ箱ではカピタン展示室No.1以来の登場ですが、本作はキルケルールの特徴がよくでた作品なので、初めての方はこの機会に覚えてしまいましょう。

初手は48金の一手。同玉では49に金が戻せず金が後手の持駒になってしまい、あと7手では厳しいので、同龍/49金でしょう。同金と龍を取れば詰みそうですが、同金/82飛で飛車は手に入らないので、これは失敗。58金、同龍/69金が金の位置を変える妙手。狙いは68金~58金~59金として、と金と金で玉を挟むこと。59金は何も利いていませんが、同玉/49金でも同玉/69金でも玉を取られてしまうので59金をとることはできず、これで詰上りとなります。キルケ独特の形ですね。

48金、同龍/49金、58金、同龍/69金、68金、48玉、58金/82飛、49玉、59金 まで9手

詰上り図

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
										四								
										五								
										六								
										七								
										八								
										九								

持駒なし

作者「49玉・59金の形を目指すために39金を39→49→69と復活移動させるのが狙いです。29とを金にすると最終手39金でも詰むのでと金にしました。

易しすぎるかもですが、それぐらいでも良いんじゃないかなとも思います。」

キルケになれている人には易しいかもしれませんが、この詰上りを見たことがないと、かなり難問かも。手が狭く、ルールの特徴がでた手順なので、キルケルールを覚えるには適切な例題になりそうです。

それでは、みなさんの感想を。解答到着順です。

山下誠さん：

龍を利用して金が一步步追いかける様が面白い。

小山邦明さん：

この収束形はキルケでは定番なのでしょう
か？

定番かどうかはわかりませんが、キルケならで
はの詰上りですね。

Pathfinder さん：

キルケはあまり解いたことがなかったので
勉強になりました。

小林巧さん：

詰パラのフェアリーコーナーで、何度かチャ
レンジさせて貰ったが、何度やっても、感覚
が馴染まない。この馴染まなさを「常に新鮮
な感覚」と捉えられる時とそうでない時があ
る。私が保守的(或いは、あつたまワル～)な
のかどうかわからぬが、慣れるまでフワフワ
とした不安感が付きまとうものなのかな？
58での駒のやり取りは、右にして良いやら左
にして良いやら、、よく分かりません。

同龍／69金、同龍／49金と戻る位置を明示
するので、左右はいらないですね。

占魚亭さん：

詰み形が見えやすく、キルケならではの駒繰
りが楽しめる入門作。29の駒が金だと最終手
39金が成立する為、と金なんですね。

金少桂さん：

詰め上がり図の予想は一目。でもそこに持つ
ていくのは一苦労。金を左に持っていく前半
の駒繰りが面白かった。

池田俊哉さん：

取られては復活する、ユニークな単騎金追い。
詰めあがりとともにキルケ独特の味

たくぼんさん：

金の位置変換の動きを楽しめる1作。キルケ
ならではの面白さ。

たくぼんさんからは、P.S.として「FairyTopIX
2014 お気に入り投票は締切を5月10日まで延
長していますのでよろしくお願ひします。」との
メッセージが。フェアリー詰将棋に加えて推理
将棋部門もあります。作者への感謝の意も込め

てお気に入りの作品に投票しましょう。

S.Kimura さん：

カピタン展示室は10か月ぶりですか。もう少
し出題が多いとうれしいです。

投稿があれば・・・ただ、今は Web Fairy
Paradise という専門誌があるので、カピタン展
示室ではフェアリーファンをふやすような作品
を出題したいと思っています。

カピタン展示室No. 25 解答：8名
全員正解

池田俊哉さん S.Kimura さん 金少桂さん
小林巧さん 小山邦明さん 占魚亭さん たく
ぼんさん Pathfinder さん

推理将棋第 8 8 回出題解説

担当：NAO

出題：平成 27 年 3 月 23 日
 解答締切：平成 27 年 4 月 20 日

短手数の 8 手詰特集にもかかわらず 2 題も余詰を出ししまい、申し訳ありません。不思議なことに、余詰があると解答者が 20 名突破という嬉しくないジンクスができてしまいました。

8 8-1 初級 孔明さん作 初めと終わりは同じ場所 8 手

「たったの 8 手で詰まされちゃった。止めは初手と棋譜上同じ表記の手を指されたよ」
 「ずいぶん、短い将棋だね」
 「そういえば端の手も成る手もなかったなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 8 手で詰んだ
- ・ 初手と最終手は棋譜上同じ表記の着手
- ・ 端の手はなかった
- ・ 成る手はなかった

出題のことば

8 手目の止めの一手の場所を推理しよう。

追加ヒント

初手と最終手は 4 8 金。

修正

「初手と最終手は同じ地点への着手」
 → 「初手と最終手は棋譜上同じ表記の着手」

推理将棋 8 8-1

- ▲ 4 八金 △ 3 四歩 ▲ 5 六歩 △ 6 六角
 - ▲ 5 七金 △ 同角不成 ▲ 3 八銀 △ 4 八金
- まで 8 手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金	王	銀	科	皇		一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
				歩					六
歩	歩	歩	歩	皇	歩	歩	歩	歩	七
	角				銀	飛			八
香	桂	銀	金	王			桂	香	九

持駒 なし

条件

- ・ 初手と最終手は棋譜上同じ表記の着手（初手と最終手は 4 八金）
- ・ 端の手なし（34 歩～66 角）、成る手なし（6 手目同角不成）
- ・ 初登場の孔明さんの作品は、初手と最終手の棋譜表記が同じ着手という取り組みやすい条件の好作品。8 手詰特集の一問目にはぴったりでした。
- ・ 先手玉周辺に初手と最終手の"同じ手"があるのは明らかなので、候補は玉周辺の駒で攻めにも強力な"金"の手であることが容易に推定されます。すなわち初手の候補は、48 金、58 金右、58 金左、68 金。最終手は当然後手が金を打つことになります。
- ・ 初手 4 8 金～4 8 金迄か、初手 6 8 金～6 8 迄か？後手は足の速い角を出動させて金を取りに行き、先手は 56 歩～57 金とそれをアシストします。金が取られた後は、48 でも 68 でも飛銀の効きが残りますが、初手 68 金の場合、後で飛銀の利きを消すことができず失敗。右側の 38 銀が 48 への飛銀の効きを消すことのできる一着で初手 4 八金が確定します。
- ・ 端の手なしは、端角の筋(14 歩～13 角～57 角)の防ぎ。
- ・ 成る手なしは 6 手目の限定。また、58 金（初手は右か左の補助記号が付くので、棋譜表記が最終手と一致することはないが）で詰む筋もなくなっている。

※修正前条件「初手と最終手は同じ地点への着手」の余詰手順

- ・ 7 手詰手順 + 1 手の順で 5 9 地点で金を奪う手順。4 8 地点と 6 8 地点の双方で余詰があり

ました。

- 1) ▲48 玉 △34 歩 ▲59 金右 △77 角不成 ▲49 玉 △59 角不成 ▲38 銀 △48 金 まで。
 - 2) ▲48 玉 △34 歩 ▲58 玉 △77 角不成 ▲59 金右 △同角不成 ▲38 銀 △48 金 まで。
 - 3) ▲68 玉 △34 歩 ▲58 玉 △77 角不成 ▲59 金左 △同角不成 ▲78 銀 △68 金 まで。
- また、2)、3) は 3 手目と 5 手目の手順前後も成立。

それではみなさんの短評をどうぞ。

Pontamon 「初手と最終手が同地点の条件で左右のどちらの金なのかが限定されているんですね」

渡辺 「駒成なしで初手と最後な同じなら 48 金か 68 金。38 銀の 1 手で銀飛の利きがなくなる 48 金が本命で指してみれば出来上がり」

DD++ 「この 8 手は成らないと左右逆は詰まないですね。この形はだいたい 9 手で歩成か桂成にしてしまうので絶対に左右限定が必要なものだとしてっきり」

占魚亭 「48・68 のどちらかですが、飛の利きを遮る必要があるので 48 ですね」

山下誠 「初手は、左右どちらの金を動かすかをまず考えた」

ジェシー 「『最終王手がどうやっても無理ではないか?』と思っていたら、3 八銀がありました」

■飛車に近い方の銀を動かして飛銀の効きを両方消す仕掛け。これがわかって初手に右金を動かす。

斧間徳子 「『端の手はなかった』の条件が残念だが、面白い手順と好条件で 8 手詰の収穫」

■修正前の「初手と最終手は同じ地点」に"6 8 玉"以下の手順を解答いただきました。この余詰手順も味のある手順。

たくぼん 「初手と同じ場所で詰めるのが意外と少ないのにビックリしました。余詰は 48 王で

すね」

テイムガンバ (双方解) 「初手で玉と金どちらを動かすか条件を教えてください」

■余詰手順の初手は 48 玉と 68 玉。失礼しました。修正は「棋譜表記が同じ」なので、初手"金"です。

飯山修 「端の手なしという条件は角の侵入ルート 13->57 と 66->57 の余詰消しという裏読みからスタートした為すぐ作意に到達してしまった」

■8 手のバリエーションは限られますので、裏読みも早い。

小山邦明 「初手と最終手と同じ表記という条件から『金』と推理して解きました」

加賀孝志 「素直な回文の手順でした」

■止めは"金"で決まり。初手も金に確定します。

波多野賢太郎 「真っ先に浮かんだのは 7 七角不成から 5 九で金を取って、4 八か 6 八に金を打って詰ます筋でした。角を 6 六から 5 七というのがちょっと意外で、少し悩まされました」

■修正前の「同じ地点への着手」なら、それでもよかったんですが、初手"金"だと 59 で取る筋がなくなります。

隅の老人 B 「最終手、打つと書いたら間違いですね」

■棋譜表記上同じではなくなりますからね。

S.Kimura 「わざわざ金を取らせに行くところが好手」

はなさかしろう 「3 手かけて 5 七で金駒を取らせるのが 8 手ならでは。角不成だとこの形しか詰まないのが意外で、実に品の良い詰め上がりでした」

NNN 「私としては 20 分以内は早く解けたほうです。初手に指した駒はもう一度動かさないといけないと考えると手が絞られて解けました」

諏訪冬葉「初手で動かした駒をそのまま取ると最終手で打てそうにないからもう 1 度動かす」

鈴木康夫「角で初手に動いた金を取って打つしかないと思いましたが、一回動かした金を取る手順ばかり考えて難渋しました」

■金が2回動くのが本局のポイントの一つ。初手に指した場所を空けるためにもう1手動かすことに加えて、金を急所の57で取ってもらう一石二鳥の手順。2回動くことに気づくと早いのですが、意外と盲点になります。

正解：21名
 双方解：DD++さん、テイエムガンバさん

飯山修さん S.Kimura さん NNN さん
 斧間徳子さん 加賀孝志さん 孔明さん 小山邦明さん ジェシーさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん テイエムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん Pontamon さん 枘彰介さん 山下誠さん 渡辺さん

88-2 初級 渡辺秀行さん作
 壁の向うの将棋 8手

壁の向うから将棋を指している声が聞こえてきます。

「初手から中飛車と来ますか」
 ...しばらくして
 「そんなことすると、この22の角で同角生と取るぞ。ほれ、8手で詰みだ」

さて壁の向うではどんな将棋が指されていたのでしょうか？

- (条件)
- ・8手で詰んだ
 - ・初手58飛
 - ・最終手は22の角を動かして同角不成と指した

出題のことば (担当 NAO)
 角が不成で飛び込む形を推理しよう。
 追加ヒント

止めの一手は77同角不成。もう一枚の攻め駒は？

推理将棋 88-2 解答

▲5八飛 △3四歩 ▲7六歩 △8八角成
 ▲6八玉 △2二角 ▲7七桂 △同角不成
 まで8手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	銀	王	銀	科	皇			
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩		
四							歩			
五										
六			歩							
七	歩	歩	銀	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八		銀	王	飛						
九	香		銀	金		金	銀	桂	香	

持駒 なし

条件

- ・初手58飛
- ・最終手は22の角を動かして同角不成(8手目77同角不成)
- ・8手詰特集の2問目は渡辺さんの軽い作品。初手と最終手の二つの着手指定ですが、最終手の"22角を動かして"がちょっとした曲者。ベテラン解答の方は騙されませんが、初めてこの条件を見た方は22の居角が不成で動いて詰むのかと悩むはずです。初心者にはちょっとだけ悩んでもらって解いてもらう狙いでしょう。
- ・手順は、同角不成の詰み形をつくるための先後協力手。"22の"を外した条件「最終手は角を動かして同角不成」で解いてみるのが近道です。
- ・初手58飛は後の58への退路塞ぎですが、初手を除いた1手短い7手詰として残り先手3手、後手4手の組み合わせを考えます。
- ・後手は最終手の角不成に紐をつけることを考えると、2手目で角道を開け、4手目駒取り、6手目駒打ち、8手目角不成。この手順では4手目の駒取りは角移動が必然のため、6手目は角打。8手目は"22の角を動かす"ことから6手目の打場所が22に確定。78の退路封鎖のため4手目は角成。後手の手順は△34歩～△88角成～△22角打～△同角不成。

・先手は 3 手目に角道を開けて協力すると、詰位置の 68 玉と最終手は 77 地点に確定。先手の手順は▲58 飛～▲76 歩～▲68 玉～▲77 桂。

それではみなさんの短評をどうぞ。

渡辺(作者) 「22 角と打つのはお約束でこれもほぼ絶連でしょう」

■渡辺さん作品となると何かあると考えるのがお約束の定跡手順。

ジェシー 「2 二角は打った角というお茶目さが好きです」

波多野賢太郎 「これは、角を取って 2 二角と打つことに気がついたのですんなり解けました。初手こそそのままですが、最終手の条件のみで手順が限定されるのがうまいなあと思いました」

加賀孝志 「味のある条件、優しい工夫」

隅の老人 B 「22 の角が不成り、成る程ねえの条件でした」

山下誠 「2 二の角が打った駒というところがミソ。うまい条件」

■打場所を限定するだけなんですけど、居角を匂わせる"2 2"の条件付けが実に巧みです。これが"5 5"とか他の場所になるとごく平凡な条件ですから。

斧間徳子 「手順に新味はないが、ミスディレクション狙いの条件がうまい」

DD++ 「『22 の角を動かして』が慣れない人にはかなり強烈な引っ掛け。ほぼ全員一度はやられた経験があるのでは」

■今回初めてこの引っ掛けをやられた方もおられました。

孔明 「角を取って初期位置に角打ち。こういう詰まし方もあるんですね」

枘彰介 「2 二の角が動いて、と言う会話文から最初は初期配置の角でトドメを刺すのかと思い

ましたが、7 七同角不成で詰む形が見つからなかったので 8 八の先手の角を取って 2 二に打ち変える順が浮かびました」

■"初期配置の角でトドメ"を一度は考えてもらいました。作者の狙い通りです。

占魚亭 「後手角のスイッチバックかと思いました」

■一度動いた角が 2 2 に戻ると角を打つ暇がありません。

飯山修 「22 角を早めに使う手もあったというやつですね」

小山邦明 「22 角が最終手の不成と指して詰む形は、99 や 88 の場所では難しそうなので、77 の場所と考えると取られないためには先手の角は 88 にはいないと推理して解きました」

NNN 「作意を理解して解けたと言ってもよい感じでしょうか？初期位置の角が最終手に動くとなると 4 手目に指す有効な手がない、となると 4 手目角移動、6 手目角打ちとなり、残りの手はほぼ自動的に決まりです」

■攻めに使えるのは 4 手だけ。4 手目に 22 角が移動して角を取り 6 手目に打たないと間に合いませんね。

はなさかしろう 「6 手合い利かずとは反対の側からの角。8 手だと特殊な場合(2 通り！?)を除けば後手が角を繰り出さなければならぬので、2 二の角はさすがに打った角でしたね」

諏訪冬葉 「7 手詰+1 手はよく見るが 6 手詰+2 手は初めて見た気がします。」

■無駄合無効なら「▲58 飛 △34 歩 ▲76 歩 △88 角成 ▲68 玉 △95 角までの 6 手詰。推理将棋は無駄合有効ルールでやっていますので 86 歩や 77 桂合いが効きます。本作は逆方向の 2 2 から攻めて 2 手プラス。

Pontamon 「駒成りなしだと勘違いして一瞬焦りました」

■ 4 手目成るための最終手同角不成でした。

S.Kimura 「盤上の 22 角が最終手で不成，なわけがないですよ。やっぱり」

たくぼん 「22 角が動いていないと・・・はさすがに思わないな（笑）」

鈴木康夫 「これは秒殺でした」

■ 流石に今回は騙されない方が多数派でしょう。

正解：21名

飯山修さん S.Kimura さん NNN さん
 斧間徳子さん 加賀孝志さん 孔明さん 小山
 邦明さん ジェシーさん 鈴木康夫さん 隅の
 老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たく
 ぼんさん DD++さん テイエムガンバさん
 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん
 Pontamon さん 枡彰介さん 山下誠さん
 渡辺さん

8 8 - 3 初級 はなさかしろうさん作
 無理なご乗車はなさらずに 8 手

「8 手で詰みました」

「7 手目に味方同士の隙間に銀を割り込ませたのが敗着だったね」

「正確に言うと『7 手目は隣接する左右両方に先手の駒がいる地点に着手』かつ『7 手目は初めての銀の手』です」

「まあそういうこと。平たく言えば『発車間際の無理なご乗車はなさないようお願いします』ってところかなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 8 手で詰んだ
- ・ 7 手目は隣接する左右両方に先手の駒がいる地点に着手
- ・ 7 手目は初めての銀の手

出題のことば (担当 NAO)

銀が割り込む両隣の駒を推理しよう。

追加ヒント

銀が割り込むのは玉と飛の隙間。銀の隣の 2

段玉を詰ます攻めは？

推理将棋 8 8 - 3 解答

▲ 7 六歩 △ 3 四歩 ▲ 6 六角 △ 同 角
 ▲ 4 八玉 △ 6 八角 ▲ 3 八銀 △ 5 七角上成
 まで 8 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	將	帝	王	帝	將	科	皇	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八				馬		王	銀	飛		
九	香	桂	銀	金		金		桂	香	

持駒 なし

条件

・ 7 手目は隣接する左右両方に先手の駒がいる地点に着手

・ 7 手目は初めての銀

(→ 2 8 飛と 4 8 玉の間に 7 手目 ▲ 3 八銀)

・ 8 手詰特集の 3 問目ははなさかさんの作品。銀が割り込むのはは左右どちらか、銀が動いた後の空間はどう塞ぐのか、8 手詰としてはちょっと考えさせる問題です。

・ 先手の銀が 1 回だけ動く可能性があるのは、28~88 の 8 段目ですが、初形の大駒:28 飛か 88 角を利用して味方同士の隙間を作って銀を割り込ませることを考えます。

28 飛を利用: 48 玉(または 48 金)の後、38 銀 88 角を利用: 68 玉(または 68 金, 68 飛)の後、78 銀

・ いずれの形も駒が動いた後の隙間に玉の退路ができそうですが、飛と玉の間に銀が割り込んだ"28 飛-38 銀-48 玉"型では、足の長い角(馬)を 57 に使えば 39 に逃さない詰み形があります。

・ 先手は 48 玉と 38 銀の他、攻めの協力手が 2 手。後手の角を 57 に効かせるため先手の角を 66 で取らせて協力する。先手の手順は ▲ 76 歩 ~ ▲ 66 角 ~ ▲ 48 玉 ~ ▲ 38 銀。

・ 後手の攻めは、角を奪った後その角を打って最

後 57 地点で仕留める。59 への退路塞ぎのため 68 地点に角打ち。後手の手順は△34 歩～△66 同角(角取り)～△68 角(角打ち)～△57 角上成。

※修正前条件「7 手目は隣接する左右両方に先手の駒がいる地点に銀の手を指した」の余詰手順

・7 手詰で 1 段目で取った銀を 53 に打つ手順 (例: ▲76 歩 △54 歩 ▲44 角 △52 玉 ▲71 角成 △51 金右 ▲53 銀迄) での金寄の替わりに銀を 2 手掛けて移動する手順。左右の金の間に銀が割り込む形がありました。

1) ▲48 銀 △14 歩 ▲56 歩 △13 角 ▲58 玉 △79 角成 ▲59 銀 △57 銀 まで。

2) ▲68 銀 △34 歩 ▲56 歩 △66 角 ▲58 玉 △39 角成 ▲59 銀 △57 銀 まで。

いずれも 1 手目, 3 手目, 5 手目の手順前後任意。6 手目角成と不成非限定もあり。

・修正では「7 手目は"初めての"銀の手」を追加。会話文にあるように『正確に言う』ために 1 条件を追加しています。

それではみなさんの短評をどうぞ。

はなさかしろう (作者) 「8 手ならではの順を使いたくて、4 手目同角を選び、条件を付けてみたのですが……やってしまいました。冷汗三斗です」

■"初めての銀"を追加した修正は、8 手詰でもちょっとした謎解き要素のある作品と思います。先手の 3 手目 66 角の協力手と後手の 6 手目 68 角打の組み合わせが絶妙。修正前条件の余詰は 2 回銀を動かす手順、作意解が先に見えたため担当もうっかりしました。

テイエムガンバ 「2 条件のままだと 24 通りも答えがあるため、数が多くなってもいいですから 1 通りに絞り込めるように条件を付け加えて下さい」

(修正後コメント: 答えが作意と違っていたので、あらためて解答いたします)

■余詰のご指摘ありがとうございます。修正前は、48 銀以下の 12 通りと 68 銀以下の 12 通りの余詰手順がありました。

斧間徳子 「作意順は面白いですが、8 手詰での

余詰めは勘弁してほしいですね」

■粗検討申し訳ありません。短手数で作意が先に見えてしまった作品の余詰検討は難しいです。担当の力不足ですが、これからは手順リストも活用していきたいと思います。

NNN 「残念ながら、8 手問題の分類から探してしまいました。6 六で角を取る筋は全然考えてなかったですね。なので余詰みの方を考えました。五六歩 三四歩 五八玉 六六角 六八銀 三九角成 五九銀 五七銀。1 筋を角が通るルート、手順前後はいくらかあります。作者、担当さんにとって余詰みは不本意でしょうけど、解答者には問題が増えて楽しめる面もありますね。余詰みを指摘される実力者がいらっしやるからでもありますね」

■余詰は申し訳ありません。"問題が増えて楽しめる"と言ってもらえて救われました。

加賀孝志 「スッキリ楽しめました」

占魚亭 「左辺の筋がダメだったので右辺の筋を考えたらあっさり解けました」

鈴木康夫 「7 手目銀は八段目しかありえないと気付いたら、詰上がりが見えました」

小山邦明 「初めての銀の手は 8 段目になるので、そこに隣接する先手の駒があるための最短手数は、48 玉と 38 銀の組合せか、68 玉と 78 銀の組合せですが、前者の方が詰ませやすいと推理して解きました」

Pontamon 「手数から言って、初期配置の角か飛を左右の駒に使うのだろうと思いました。銀の割り込みで飛の横効きを無力化するのが好都合で、この形となるとトドメは 57 あたりからの角か馬しかないのですんなり解けました」

S.Kimura 「48 玉, 38 銀の形を想像し、最終手が 57 角しかないと思い付いて、ようやく答えにたどり着きました」

■48 玉-38 銀型を 57 角成(馬)で仕留める詰形に決め打ちできれば早く解けますね。

孔明「ずっと7八か6八か4八で飛車金銀のいずれかを取らせるものだと思ってなかなか解けませんでした。4八玉、3八銀型だと3九が空くので取らせる駒は角っぼいなど思ったんですが取らせるために2手かけると手数がかかると思い、読みから外していました」

■折角48玉-38銀型が浮かんでも、"角は88で取る"思い込みがあると遠回りになりましたね。

飯山修「28から順に可能性をチェックしていたら38で早くもヒット。88からやらなくてよかった」

■28は考えるかもしれませんね。でも、88も考えますか？

DD++「条件を見て59銀か77銀の二択に絞ったため修正に面食らいました。38飛18香からの28銀とか真面目に考えそうになる混乱ぶり」

■早々に余詰のご指摘いただきました。意外と66角と68角の組み合わせが盲点になって作意の方が浮かびにくかったのでしょうか。

渡辺「詰上図はすぐに浮ぶのだがそこから仲々手が戻せない。実は打った角と自陣角を逆にすれば良いだけでした」

■68角はどこから来たの？詰上りが決まっているのに戻せないもどかしさ。

ジェシー「7手目のこの限定だけで全部確定するんですねー」

■7手目だけの指定ですが、きちっと手順が確定します。

波多野賢太郎「たったこれだけの条件で手順が決まるのか？と最初は思いました。銀の手はなんとなく3八銀かなと予想しましたが、4八金の形を考えてしまって悩みました」

■48金の形だと、49への退路塞ぎが難しくちょっと届きません。

隅の老人B「3手目が好手、斬って下さいと角が首を出します」

山下誠「6六角が手数を短縮する献身的な好手」

諏訪冬葉「ヒントを見ても全く思い浮かばず降参しようかと思いました。▲77角△同角成は読んだのになぜ▲66角が浮かばなかったのだろう・・・」

たくぼん「詰上りが浮かぶまでかなり時間がかかりました。66角がありましたね」

■▲66角は後の△57角成を見た急所で駒を取らせる協力手。短手数の8手詰で実現した、なかなか気づきにくい巧妙な一手です。

柘彰介「ヒントで玉の詰め上がりが見えたので先手の角を6六で取らせて5七の地点に角2枚を利かせて詰ます手順が浮かびましたが、5九の地点を埋めるのに▲5九金左とすると手数オーバーして困ったところに、△6八角と言うピッタリの手気づいて今月は全問解答出来ました」

■▲66角と△68角。この両方に気づかないと正解にたどり着けません。一方が判ってももう一方になかなか気づかない組み合わせの妙でした。

正解：21名

双方解：DD++さん、テイエムガンバさん、斧間徳子さん、NNNさん

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん
斧間徳子さん 加賀孝志さん 孔明さん 小山邦明さん ジェシーさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん テイエムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん Pontamonさん 柘彰介さん 山下誠さん 渡辺さん

総評

Pontamon「出題日は風邪で会社を休んでいて、夕方に取り出して解いたので、初の解答一番乗り。今回は全問初級で平日出題だったのが功を奏したけど、第90回の難易度ゼロ特集の出題

日は土日の可能性大だから、ベテラン勢を差し置いての解答一番乗りはもう二度とないのかも」

■一番解答は気持ちがいいもの。次回も一番乗りを期待しています。

孔明 「投稿作の採用ありがとうございます」

■検討がお粗末で申し訳ありませんでした。88-1 は着眼点に孔明さんのセンスを感じました。次回作品も期待しています。

ティエムガンバ「今回の問題は余詰が多く残念に思います。次回は余詰なしの出題をお願いします」

■短手数作品での余詰出題は、ホントに情けないです。次回はがんばります。

渡辺 「さすがに8手は簡単ですね。私の以外余詰指摘ありというのが意外...」

■今回は簡単な余詰だったのでご指摘が多数ありました。担当の検討が粗すぎました。

はなさかしろう「8手は攻めの幅が狭いまま玉方の援助が強くなっているので、7手のバリエーションには要注意なのですが、見落としました。短編は難しいです」

■強力な協力手がありました。担当の検討もお粗末で申し訳ありません。

DD++ 「私の経験的に、8手は9手より余詰やすいんですよ。なぜか。本当になぜか」

■なぜか？理由はありそうです。はなさかさんコメントのとおり(1)玉方援助の手があること、もう一つ(2)9手詰より作例が少ないこと、この2点ではないでしょうか。今回は8手詰の独自手順に惚れ込み、7手詰手順+1手で余詰むパターンです。やられました。

S.Kimura 「8手詰特集は楽しかったです。余詰めは、別解を探せてお得な気がするのですが、2問とも余詰め解を見付けられず残念でした」

■余詰め報告に"お得な気がする"と言っていた

だけるとホントに救われます。これからは毎月余詰を出して・・・お得な気にさせるわけにはいきません。

波多野賢太郎「今回はたしかにやさしめでしたが、それでも悩みどころがあって十分楽しめました。少ない条件で手順を限定させるのは難しいだろうと思いますが、毎月いろんな作品にふれて、よく考えるなあと感心するばかりです」

■ネタはつきないものです。波多野さんも作品を思いつかれたらご投稿ください。

隅の老人B「今回は珍しくヒントなしで全問が解けました。お花見の季節も終わって、今日も暇。それでは、推理将棋の解答を書こう」

■ヒントなし全解おめでとうございます。例月は解答者の半分が一題ぐらいヒント待ちするぐらいの難易度がちょうどいいかなと思ってます。

斧間徳子「8手詰特集と聞いて新作が3題集まるのかと思いましたが、杞憂でした。今回は88回ということは1年後に大台を迎えるんですね。」

■早いもんです。100回まで残り1年ですか。なにか企画はありますか。やはり10手詰特集かな。

占魚亭「8手特集、楽しかったです。次の8手特集は第888回？(笑)」

■次は第188回です。いやいや、108回かもしれませぬ。

枡彰介「今回の問題は全て基本7手詰めに無駄手を一手加えたものではなく、8手詰めでしか実現しない手順だったので8手詰め特集として好感触でした」

■作意手順は8手詰らしい好手順でした。一方、出題当初の余詰手順が基本7手詰に一手加えたものでした。

鈴木康夫「8手詰の一覧は作ってあるのでテキスト検索で対応しようとしたのですが難しく普通

に解きました」

■着手地点、駒種、棋譜表記などはテキスト検索向きですが、88-3 の"味方同士の間隙に銀を割り込ませた"のような条件は対応が難しそうです。鈴木さんからは8手詰全手順リストを拝受。ありがとうございます。

たくぼん「8手解はある程度頭に入っていると思っていましたが、条件変わるとなかなか対応できないことがよく分かりました

■条件変われば別問題。手順が同じでも見える景色が変わるんです。

山下誠 「推理将棋は初めての解答です」

ジェシー 「今月もありがとうございます。久々の解答です」

NNN 「毎月楽しませてもらっています」

■初解答も久々解答も大いに歓迎いたします。次回も連続解答をよろしくお願いいたします。

推理将棋第88回出題全解答者： 21名（全員3問正解！）

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん
斧間徳子さん 加賀孝志さん 孔明さん 小山邦明さん ジェシーさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん テイエムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん Pontamonさん 枡彰介さん 山下誠さん 渡辺さん

で、一位はほんとうに望外の喜びです。投票して下さった方に御礼申し上げます。これを機に透明駒の普及がよりいっそう進むことを願っております。

★ 果敢に挑んだ私と一乗谷さんが誤解で撃沈。透明駒を正しく理解し解答出来るまでもう少し時間がかかるかもしれませんが、解説を読んでその内容には納得の一言。(詳しくは WFP74 号をよーく読んで見て下さい)

久保紀貴 1位

成禁や 19 香、17 歩などやや苦心の跡が見られますが、この透明駒判明プロセスは大胆かつ新鮮でした。9×9 の盤面を最大限活かしたロジックになっているのもやや大げさな物言いになるかもしれませんが神秘的で、お気に入りです。

たくぼん 1位

私の思考回路の上を行く作。

soga 2位

透明駒は各作構想を凝らしてあってどれも好きだが、個人的なお気に入り一票。

🌸 2位 短 34 上谷直希 2014/5 第 63 回 WFP 作品展 63-3

12pt

キルケ協力詰 9手

		角								
		飛								
王		王								
		歩								

持駒 歩

94 角成 同飛/88 角 77 角 86 飛 同角/82 飛 同飛/88 角 96 歩 同飛/97 歩 同歩/82 飛 まで 9 手

詰上図

		飛								
		飛								
		王		王						
		歩		歩						
		角								

持駒 なし

受賞コメント 上谷直希

吹けば飛んでいくような軽さの作だけに、予想外の授賞でびっくりしております。ありがとうございます。本作は初手を省けば一枚配置駒を減らせることもあり、正直言えばこのコメントを書いている今でさえも悩んでいるのです。優柔不断でお恥ずかしい。

★ 3 手目から 96 歩は打歩詰。77 角以下飛合→取る/復活→取る/復活→取る/復活→取る/復活で先打突歩詰。森田手筋を含めて簡素な形から分かりやすい表現が評価されました。普通詰将棋でも詰パラで活躍中(普通詰将棋にもフェアリー感覚が随所に見られ本当に好感が持てますね) 今後に特に注目の若手です。

占魚亭 1位

キルケで森田手筋ができるのかと感嘆しました。大好きな作品です。

Soga 1位

森田手筋からスムーズに先打突歩詰につなぐ構想が素晴らしい。

たくぼん 3位

自然すぎた流れで解図したが、後から凄い手筋と気付いた。



🏆 3位 短 49 会場健大 2014/5
第 63 回 WFP 作品展 63-19

9pt

詰将棋 13手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						龍			一
								王	二
							馬	龍	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし
透明駒 攻方 1 枚、受方 0 枚
連続王手の千日手禁止

一 X 11 玉 一 X 12 玉 一 X 11 玉 一 X 12 玉
一 X 11 玉 一 X 12 玉 一 X まで 13 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						龍	?		一
							?	王	二
							馬	龍	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

受賞コメント 会場健大

二作ランクインは嬉しい驚きでした。本作は、投稿にも記載したように、久保紀貴氏がもともと持っていたアイデアを普通詰将棋で簡潔に表現できる構図を見つけたという程度のもので、私の貢献部分はそう大きくありません。ひとつ嬉しかったのは、千日手構想の先駆者たる縫田光司氏が「この構図は思いつかなかった」と発言しておられるのを見かけたことで、簡素化表現としてはひとまず成功としていいのではないかと思います。ありがとうございました。

★ 連続王手の千日手の禁止を利用し透明駒の

「成」を確定させる作品。解説は WFP74 号で

変寝夢 2位

あれだけの誤解（無解ではなく）を発生させた。

上谷直希 2位

狙いを純粹抽出する姿勢を支持します。

たくぼん 2位

参ったなあ～。最後に間違うとは。悔しいので 1 票。

4位 短 29 神無太郎 2014/4

第 62 回 WFP 作品展 62-8

5pt

AndernachIsardam協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						王			四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 角 2

18 角 27 飛 65 角 17 飛成 29 角左 27 桂 まで 6 手

変寝夢 1位

一寸の無駄がない仕上がりが好きです。

4位 短 30 神無太郎 2014/4

第 62 回 WFP 作品展 62-9

5pt

AndernachIsardam協力自玉詰 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
								王	六
									七
								王	八
									九

持駒 飛 角

49 飛 39 角 47 角 46 飛 39 飛 転 38 飛 生 18 角 28 飛 成 まで 8 手

上谷直希 1 位

白玉詰らしからぬ、滋味深い手順がいいですね。

4 位 短 86 上谷直希 2014/11 第 68 回 WFP 作品展 68-3

5pt

禁欲打歩協力詰 11 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						角		歩	五
			龍		角			王	六
									七
								遊	八
						桂			九

持駒 金

17 金 同飛成 69 角 36 歩 同龍 26 龍 27 龍 同龍 25 角 同龍 17 歩 まで 11 手

橋本孝治 1 位

角を壁に押し付ける狙いの一手を中心に、前後をソツなくまとめ上げた、ある意味フェアリーらしからぬ完成品。このくらい練られた作品がフェアリーでも当たり前に見られるようになることを願って票を投じます。

7 位 短 33 DD++ 2014/5 第 63 回 WFP 作品展 63-2

3pt

持駒推理協力詰 9 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					歩	歩	歩		四
						王	桂	龍	五
								遊	六
					桂	歩	歩	王	七
									八
									九

持駒 ?

持駒：角 2 桂 2

17 角 同桂生 36 歩 25 玉 14 角 同玉 26 桂 25 玉 37 桂 まで 9 手

橋本孝治 2 位

ルールの発案者がそのルールの良い担い手とは限りません。短期間で忘れ去られそうな運命にあるルールを拾い上げ、1 年寿命を延ばしたのがこの作品です。盤上や駒台など、欠落した情報を補う詰将棋版「虫食い算」は、作図問題の形で時々企画されますが、あくまで散発的なイベントで終わり、なかなか大きなトレンドにはなりません。このルール、はたして来年以降も生き残っているでしょうか？

7 位 短 37 上谷直希 2014/5 第 63 回 WFP 作品展 63-7

3pt

安北マドラシ協力詰 5 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								歩	五
					銀	雀	王		六
									七
									八
								飛	九

持駒 銀香

39 飛 19 飛 48 銀打 18 銀 29 香 まで 5 手

占魚亭 2 位

最終手の特殊性が面白いです。自作（対面マドラシ協力詰 5 手/第 65 回 WFP 作品展 65-11）は本作に想を得たのですが、いま見ると「えっ、どこが？」という感じですね……。



9位 短20 時風瑞季 2014/3
第61回 WFP 作品展 61-7

2pt

協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
		角				角		三
								四
		飛				飛		五
					桂	歩		六
			香					七
						王		八
								九

持駒 桂2

※透明駒 攻方0枚、受方7枚

58桂 55玉 47桂 まで 3手

橋本孝治 次点

透明駒を使ったユーモア作品。駒の種類・位置・所属が不明なのが透明駒の特徴で、解図には論理的推論が不可欠ですが、その路線ばかりを追求していたのでは、このルールも早々に寿命を迎えるでしょう。新しいルールは、その利用法の開拓も行われねばなりません。

たくぼん 次点

誤解してしまったので1票。

9位 短26 神無太郎 2014/4
第62回 WFP 作品展 62-5

2pt

AndernachIsardam協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				王				一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 金3

42金 62玉 73金 61玉 62金打 51玉 32金
まで 7手

変寝夢 次点

紛れ順にも注目して欲しい作品。

たくぼん 次点

美しい初形に手順。申し分なし。

9位 短51 変寝夢 2014/7
第64回 WFP 作品展 64-1

2pt

非連続王手協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
					馬			六
	銀							七
王								八
								九

攻方持駒 なし

受方持駒 n角 n香

93馬 13n角 79n角成 97n香 まで 4手

soga 3位

4手という短手数ながら、馬とn角が飛び交う様子が濃くて面白い。

9位 短56 上谷直希 2014/7
第64回 WFP 作品展 64-6

2pt

AndernachIsardam打歩協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
							香	四
					と	王		五
								六
						金	歩	七
								八
								九

持駒 銀

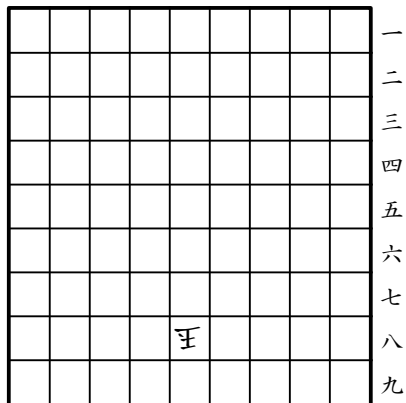
24 銀 同金 転 16 歩 14 歩 25 金 26 玉 15 金
16 玉 14 金 転 15 玉 16 歩 まで 11 手

変寝夢 3 位

2 6 玉に乾杯、ということで・・・。

9 位 短 61 神無太郎 2014/8
第 65 回 WFP 作品展 65-4

Isardam 打歩協力詰 13 手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 香歩

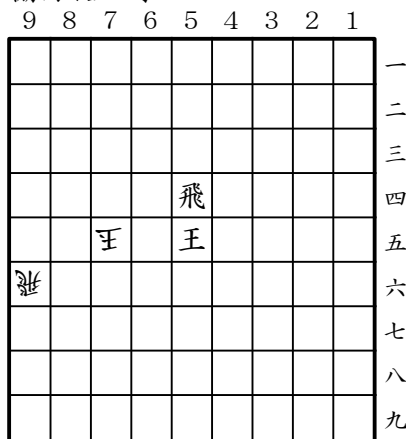
59 歩 57 玉 58 歩 46 玉 49 香 48 角 同香 45
香 79 角 68 歩 同角 35 角 47 歩 まで 13 手

上谷直希 3 位

手順ももちろんながら、この順が限定となる
背景も含めて評価したい。

9 位 短 64 たくぼん 2014/8
第 65 回 WFP 作品展 65-10
協力詰 7 手

協力詰 7 手



持駒 なし

b) 後手が先手を詰ます (協力詰 7 手)

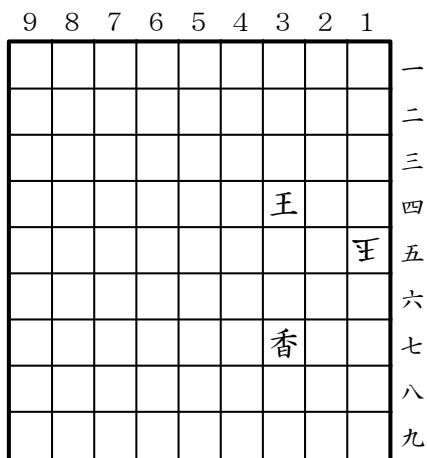
a) 74 飛 86 玉 84 飛 85 金 同飛 97 玉 88 金
まで 7 手

b) 56 飛 44 玉 54 飛 45 玉 44 飛 55 玉 54 飛
打 まで 7 手

占魚亭 3 位

こういう出題方法もあるのかと目から鱗でした。

9 位 短 109 神無太郎 2014/12
ちょっと早い 2015 年年賀詰作品展 1 番
Isardam ばか詰 13 手



持駒 桂

27 桂 23 桂 同王 25 玉 17 桂 33 桂 同王 14
玉 26 桂 22 桂 同王 24 玉 16 桂 まで 13 手

橋本孝治 3 位

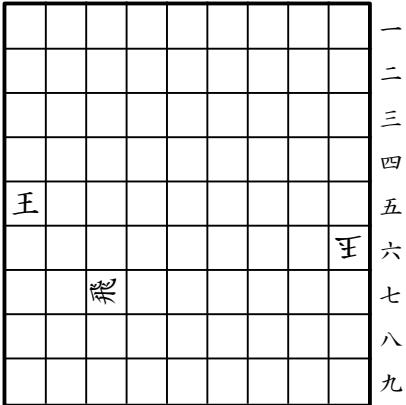
盤上に桂がなく、持駒にも桂が 1 枚しかない
四桂詰。普通の詰将棋だと大仰な作品になり
そうなストーリーを、簡素な初形と趣向的な
手順でアッサリと実現しているのがフェア
リーらしいところです。そのうち盤面にも持
駒にも桂のない四桂詰が見られるかもしれ
ません。。



16位 短3 変寝夢 2014/1
第59回 WFP 作品展 59-3

1pt

天竺PWC打歩協力自玉詰 6手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

17n 飛 87n 飛生 86n 飛 15 玉 86 玉/95n 飛 85 歩 まで 6手

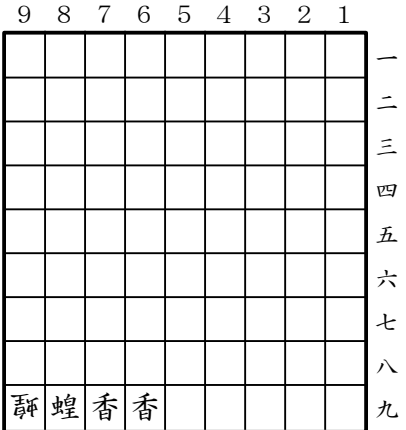
たくぼん 次点

これはかなり考えたのですが分からなかった。
脱帽です。

16位 短12 橋圭伍 2014/2
第60回 WFP 作品展 60-7

1pt

協力自玉詰 6手



持駒 角

22 角打 88 飛打 88-87 蝗 22-11 蝗 71 飛打 71-81 蝗まで 6手

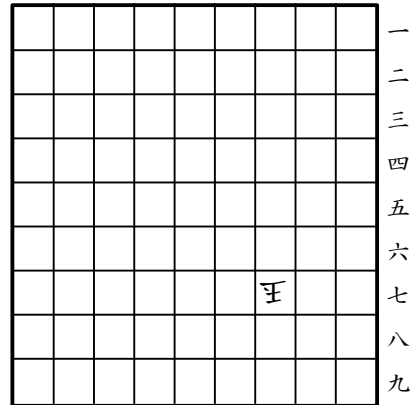
変寝夢 次点

LOCUST の魅力を引き出していると思う

16位 短27 神無太郎 2014/4
第62回 WFP 作品展 62-6

1pt

AndernachIsardam協力詰 11手 ※2解
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 香3

- 1)38 香 26 玉 29 香 28 飛 27 香 38 飛成転 37 龍 17 玉 25 香 16 玉 26 龍 まで 11手
- 2)39 香 26 玉 29 香 28 角 27 香 39 角成転 48 馬 17 玉 39 馬 18 玉 28 馬 まで 11手

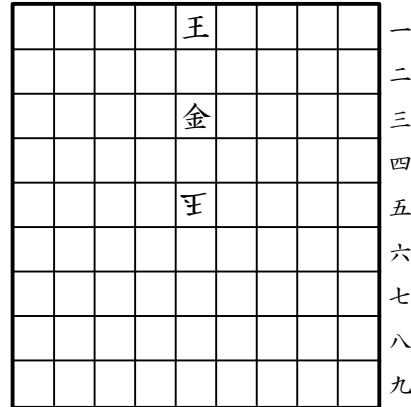
上谷直希 次点

記憶に残るツインです。

16位 短57 上谷直希 2014/7
第64回 WFP 作品展 64-8

1pt

AndernachIsardam協力自玉詰 14手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 桂香

- 59 香 44 玉 54 金 52 香 同王 53 香 58 桂 54 玉 57 香 56 飛 46 桂 同飛転 43 王 41 飛 まで 14手

たくぼん 次点

この展開は想定外。超難解です。

16位 短78 変寝夢 2014/10
第67回 WFP 作品展 67-7

1pt

協力白玉詰 6手

									王	一
										二
										三
										四
										五
										六
								■		七
									王	八
										九

持駒 金

※■ : Imitator

22金 16飛 29玉[I38] 27飛 38玉[I47] 18飛成[I49] まで 6手

たくぼん 次点

ルールに慣れていないせいもあるが誤解ながらも楽しめた作品。

【総評】

橋本孝治

今回は比較的軽めの作品を中心に投票しました。難解作や凝った手筋の作には損をさせてしまったようで、すみません。短編はいつもそうですが、「これ以外にない！」という決定的な作品はあまり出現しないので、投票もその時の気分に左右されます。毎年同じような傾向の作ばかり選ぶのも、あまり健全でない気がするので、自分としてはこれで良いと思っています。

占魚亭

変寝夢さんのフェアリー駒を使用した諸作品、時風瑞季さんの新ルール作も面白かったです。

【中編部門】

投票者：変寝夢、橋本孝治、占魚亭、soga、たくぼん 計5名

中編部門の投票者は5名でした。26作の中から1位はダントツ 21pt を獲得した上谷さんの作品でした。投票者5名中4名の1位票を獲得しました。2位は上田さんのこれも好作。3位は変寝夢さんのフェアリー駒を複数使った趣向作が入りました。

🌀 1位 中9 上谷直希 2014/8
第65回 WFP 作品展 65-2

21pt

AndernachIsardam協力千日手 2

										一
										二
										三
								銀		四
				銀					角	五
										六
				銀		王				七
										八
								歩	角	九

持駒 なし

28歩 26金 27歩 25金 26歩 48玉 25歩転 26歩 37角 27歩生 19角 37玉 28金 46玉 29金 28歩生 37角 29歩生転 15角 37玉 まで 20手

受賞コメント 上谷直希

マドラシ（もしくは Isardam）で好んで使う筋に、マドラシ（Isardam）対を開け閉めすることで駒のオン・オフをめまぐるしく変化させる筋があります。本作以外では第37回の氾濫に投稿させていただいたアンチキルケマドラシ協力白玉詰がその主な例でしょうか。発生させた合駒をすぐ動かせたりして、つなぎの手を入れることなく手を紡げるのが好都合です。

複合ルールは、解答者の皆様にかかる負担が重くなってしまいます。その負担に報いるためにも、複合ルールならではの筋を提示することはもちろんながら、その上でどんな統合的なテーマを表現できるのかを考えていきたいです。これまでの反省を踏まえてそう思ったりし

ています。

★ 担当者七郎さんの「どこからともなく現れ、役目を終えるといざこともなく去る…まるでドラマのように、意外な登場人物（駒）が活躍する作品。」という名言が全てを表している。是非鑑賞していただきたい手順。詳細はWFP76号

橋本孝治 1位

歩の昇降を助けるため、忽然と表れて消える金。駒の利きを開閉したり、玉が焦点への出入りを繰り返す幻想的な手順。

現在は AndernachIsardam というルールをどう使えば良いか、まだほとんど分かっていない状態のはずですが、こんなに高度な狙いと完成度を併せ持った作品を見られるとは思いませんでした。昨年度の中編では突出した作品。

占魚亭 1位

2014年発表作の中で1作挙げるとしたら、間違いなく本作。凄いとしか言いようのない傑作です。

soga 1位

歩が一往復する間に入る金と角の手順が絶妙。

たくぼん 1位

唯一の正解者となり感動に立ち会えて幸せでした。

変寝夢 次点

熱さに一票

🌀 2位 中1 上田吉一 2014/1 第59回 WFP 作品展 59-7

8pt

PWC打歩協力詰 49手

香										香
					龍					
王										
	香	香								
王										

攻方持駒なし
受方持駒なし

47 龍 96 玉 36 龍 95 玉 25 龍 94 玉 14 龍 同歩/13 龍 24 龍 95 玉 15 龍 同歩/14 龍 25 龍 96 玉 26 龍 95 玉 15 龍/26 歩 94 玉 24 龍 95 玉 35 龍 96 玉 26 龍/35 歩 97 玉 37 龍 96 玉 46 龍 95 玉 35 龍/46 歩 94 玉 44 龍 95 玉 55 龍 96 玉 46 龍/55 歩 97 玉 57 龍 96 玉 66 龍 95 玉 55 龍/66 歩 94 玉 64 龍 95 玉 75 龍 96 玉 66 龍 97 玉 98 歩 まで 49 手

詰上図

香										
					龍					
王										
歩	香	香								
王										

攻方持駒なし
受方持駒なし

受賞コメント 上田吉一

(連絡取れ次第追加掲載予定)

★ 13歩を龍鋸で66まで連れてくる趣向作。。無駄のない配置での確かな表現。まさに上田ワールド。

変寝夢 1位

いつもながらエレガンスですね。

soga 2位

変則龍ノコと歩のダンスが美しい。



🌀 3位 中12 変寝夢 2014/8
第65回 WFP 作品展 65-9

4pt

協力自玉詰 16手

										王	一
											二
										G	三
											四
											五
											六
											七
										玉	八
									入		九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※鬣 : Lion、G : Grasshopper
※93桂は中立駒
※双方不動玉

81n 桂生 73n 桂 61n 桂生 53n 桂 41n 桂生
33n 桂 21n 桂生 13n 桂 21n 桂生 33n 桂 41n
桂生 53n 桂 61n 桂生 73n 桂 19 鬣 同と まで
16手

詰上図

										王	一
											二
										鬣	三
											四
											五
											六
											七
										玉	八
									入		九

攻方持駒 なし
受方持駒 鬣G

受賞コメント 変寝夢

2年連続で表彰ということでとても嬉しいです。作品の方は極光2の81番(比べないでね)からn桂鋸を抽出したのですが、Gの配置等拙いところが目立ち恥ずかしい限りです。VM(現在確認できているユーザーはお一人ですが)と共にこれからも頑張っていきたいと思います。

★ Lion、Grasshopper、中立駒と3種のフェアリー駒の入った趣向作。楽しめるという点で得票がはりました。

橋本孝治 3位

横に進む桂鋸という、とても変わったものが見られたので1票を投じます。長編に拡張できそうとか、Gは別の駒でも良いとか、物足りない面も多々ありますが、アイデアの優秀さを買います。

たくぼん 3位

いろいろなフェアリー駒を使った軽趣向をどんどん見せて欲しいと思います。

4位 中4 たくぼん 2014/5
第63回 WFP 作品展 63-9

3pt

Andernach協力詰 21手

											一
											二
											三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 角

73 角 同金寄転 63 金 54 玉 64 金 同銀転 63
銀生 同金転 64 金 同角転 53 角成 65 玉 43 馬
同飛転 63 飛成 64 金 74 龍 66 玉 76 龍 55 玉
56 龍 まで 21手

占魚亭 2位

20手を越えただけでなく曲詰でもあるという、個人的に羨ましい作品。



4位 中5 上谷直希 2014/7
第64回 WFP 作品展 64-7

3pt

Andernach打歩協力詰 17手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
						馬			四
									五
							王		六
									七
									八
									九

持駒 銀

44馬 16玉 43馬 34飛 25銀 15玉 33馬 同
飛転 13飛成 14歩 24龍 26玉 14銀転 16玉
27龍 15玉 16歩 まで 17手

変寝夢 2位

これもスッキリしていますね

4位 中7 小林看空 2014/7
第64回 WFP 作品展 64-10

3pt

AndernachIsardam協力自玉詰 20手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

香	桂	銀	香	王	香	銀	桂		一
	飛						王		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角 金香

52香 42玉 51角 32玉 42角成 同銀転 31銀
成 同角転 22金 31金転 11金 42玉 32金 52
金転 33金転 31玉 42金 同飛転 32歩 22飛
まで 20手

橋本孝治 2位

今回看空氏は AndernachIsardam で3作の原
始図式を発表したわけですが、そんな中で一

番面白かったのがこの作品です。「多くの駒
が転で寝返る」という手順はもちろんですが、
「攻防は終始敵陣内」という特徴が他の2作
に優るところ。玉が自陣から出たは、陣形図
式の意味がありません。

4位 中26 神無七郎 2014/12
ちょっと早い 2015 年年賀詰作品展 3番
協力自玉スタイルメイト 32手

3pt

									一
			香	王	香				二
			歩	馬	歩				三
			香	王	香				四
			香	歩	香				五
			龍	馬	龍				六
									七
									八
									九

持駒 金2桂4

41歩成 同角 52金 同角 41香成 同角 52金
同角 61歩成 同角 43桂 同角 61香成 同角
43桂 同角 61香成 同角 43桂 同角 61龍 同
角 52金 同角 41香成 同角 63桂 同角 41龍
同角 52金 同角 まで 32手

たくぼん 2位

簡単+立体曲詰。見事なエンターテイメント

8位 中3 橋圭伍 2014/5
第63回 WFP 作品展 63-6

2pt

キルケ協力自玉詰 16手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

	と							王	一
王	香								二
			馬			香			三
									四
									五
									六
								龍	七
									八
ス									九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

22 香成 同玉/19 香 31 馬 33 玉 42 馬 44 玉
53 馬 55 玉 64 馬 66 玉 75 馬 77 玉 86 馬 88
玉 97 馬 同龍 まで 16 手

soga 3位

玉を持ってきて魔女返しを防ぐというアイデアが面白い。

8位 中8 小林看空 2014/7
第64回 WFP 作品展 64-11

2pt

AndernachIsardam協力白玉詰 20手

											9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金	玉	銀	科	皇													一
	飛						皇													二
飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛												三
																				四
									王											五
																				六
									桂											七
																				八
																				九

持駒 角 金 銀

42 角 同飛転 52 銀 62 玉 63 銀生転 52 銀 63
歩 同玉 54 金 同歩転 53 歩成 同銀転 62 飛生
54 玉 64 飛生 45 玉 44 銀成 35 玉 34 全 14
飛 まで 20 手

変寝夢 3位

荒々しさが魅力

【総評】

橋本孝治

今期は上谷直希氏の作品がひときわ強烈な印象でした。ちょっと手順を見ただけでは何をやっているか意味が分からない、という作品にはフェアリーの醍醐味を感じます。

上谷直希

本年は推したい作品がありませんでした。申し訳ありません。きっと鑑賞不足ですね…。

【長編部門】

投票者：変寝夢、橋本孝治、酒井博久、上谷直希、占魚亭、soga、たくぼん 計7名

長編部門の投票者は7名でした。

**🌀1位 長23 soga 2014/4
WFP 作品展特別出題**

多玉禁欲成禁協力詰 (駒余り可)

6 6 n²+2 2 4 n+5 1 手

15pt

図・解説は WFP72 号 P29~をご覧ください

「5623 龍 5519 玉 5523 龍 5420 玉 5423 龍
5321 玉 5323 龍 5221 玉 5122 角 5120 玉
5221 角 5021 玉 5120 角 4920 玉 5021 角
4919 玉 4920A 5018 玉 5218 牛 5118B 同牛
5117 玉 5218 牛 5217 玉 5117 牛 5316 玉
5516 狼 5416C 同狼 5417 玉 5516 狼 5517
玉 5417 狼 5618 玉」×n (34 手×n 回)5623
龍 5519 玉 5523 龍 5420 玉 5423 龍 5321 玉
5323 龍 5221 玉 5122 角 5120 玉 5221 角
5021 玉 5120 角 4920 玉 5021 角 4821 玉
4823 龍 4721 玉 4723 龍 4620 玉 4420 狼
4520A 同狼 4519 玉 4420 狼 4419 玉 4519
狼 4418 玉 4419A 4317 玉 4309 飛 4217 玉
4209 飛 4118 玉 (この部分は 34 手)『4123 龍
4019 玉 4023 龍 3920 玉 3923 龍 3821 玉
3722 銀 3720 玉 3621 銀 3719 玉 3720C
3618 玉 3617 飛 3518 玉 3517 飛 3418 玉
3417 飛 3319 玉 3317 飛 3220 玉 3223 龍
3119 玉 3123 龍 3018 玉 3014 飛 2917 玉
2914 飛 2818 玉 (この部分は 28 手)「2823 龍
2719 玉 2723 龍 2620 玉 2623 龍 2521 玉
2523 龍 2421 玉 2322 角 2320 玉 2421 角
2221 玉 2320 角 2120 玉 2221 角 2119 玉
2120B 2218 玉 2418 牛 2318A 同牛 2317 玉
2418 牛 2417 玉 2317 牛 2516 玉 2716 狼
2616D 同狼 2617 玉 2716 狼 2717 玉 2617
狼 2818 玉」×n (34 手×n 回)2823 龍 2719
玉 2723 龍 2620 玉 2623 龍 2521 玉 2523 龍
2421 玉 2322 角 2320 玉 2421 角 2221 玉
2320 角 2120 玉 2221 角 2021 玉 2023 龍
1921 玉 1923 龍 1820 玉 1620 狼 1720B 同
狼 1719 玉 1620 狼 1619 玉 1719 狼 1618 玉
1619B 1517 玉 1515 飛 1418 玉 1415 飛
1319 玉 1315 飛 1220 玉 (この部分 36 手)
「1223 龍 1121 玉 1123 龍 1021 玉 0922 角
0920 玉 1021 角 0821 玉 0920 角 0720 玉
0821 角 0719 玉 0720D 0818 玉 1018 牛

0918B 同牛 0917 玉 1018 牛 1017 玉 0917 牛 1116 玉 1115 飛 1216 玉 1215 飛 1317 玉 1315 飛 1418 玉 1415 飛 1319 玉 1315 飛 1220 玉」(32手×n回)1223 龍 1121 玉 1123 龍 1021 玉 0922 角 0920 玉 1021 角 0821 玉 0920 角 0720 玉 0821 角 0621 玉 0623 龍 0521 玉 0523 龍 0420 玉 0220 狼 0320D 同 狼 0319 玉 0220 狼 0219 玉 0319 狼 0218 玉 0219D 0317 玉 0309 飛 0216 玉 0209 飛 0315 玉 0309 飛 0214 玉 0209 飛 0313 玉 0309 飛 0212 玉 0209 飛 0311 玉 0309 飛 0410 玉 0409 飛 0510 玉 0509 飛 …… (66手略) …… 3910 玉 3909 飛 4011 玉 4009 飛 4112 玉 4109 飛 4213 玉 4209 飛 4314 玉 4309 飛 4215 玉 4209 飛 4316 玉 4309 飛 4217 玉 4209 飛 4118 玉 (この部分は省略部分込みで126手)』×n((66n+190)手×n回)4123 龍 4017 玉 4023 龍 3916 玉 3923 龍 3815 玉 3615 狼 3715C 同狼 3714 玉 3615 狼 3614 玉 3714 狼 3613 玉 3614C 3512 玉 3413 と まで 66n²+224n+51 手

受賞コメント *soga*

投票していただきありがとうございます。本作は投稿時に、担当の神無七郎氏より持駒を2乗する作品が作れないかとアドバイスを受け創作したものです。ペイントを使って図面を作成していた当時が思い出されます。完成度としては未熟で、今見ると直したいところだらけです。それでも、本作が様々な作品や文章のおかげで発表までこぎつけたように、将来の誰かのアイデアの痕跡になってくれたらいいなと考えています。

私自身は「コンピュータが作れたのだから、次は人工生命っぽいものが作れないだろうか」なんて妄想していますが、実現方法が影も形も見えてきません。このように書いておけば、将来誰かが作ってくれたりしないでしょうか？

★ もうこれは作者・担当者の解説を読んで頂くしかないでしょう。拡大盤・非標準駒数で新たな世界を見せてくれた作者に感謝です。

橋本孝治 1位

詰将棋では何が表現できるか——答えは「すべて」。足りないのは盤の大きさと駒数だけであることを示したのが本作の意義でしょう。フェアリーのみならず、昨年度に発表されたすべての詰将棋の中で最も重要な作として本作を一位で推薦します。従来のフェア

リーでは機能や論理が変更されたルールが多かったので、規模や物量を変更するルールは軽視されがちだったと思います。これを機に従来の枠を（規模や物量の面で）越えた自由な発想の作品が次々と生まれることを期待します。

変寝夢 1位

訳のわからなさが魅力です

たくぼん 1位

すべてを理解できてはいませんが、2014年で一番インパクトのあった作品。

2位 長10 神無七郎 2014/10

Fairu of the Forest #41-03

協力詰 107手

14pt

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
								皇	皇	五
									飛	六
									王	七
皇										八
皇	香	王								九
皇	香	皇	香	香						

持駒 金桂歩18

77金 68玉 67金 58玉 57金 48玉 49歩 同 金 47金 38玉 39歩 同金 37金 48玉 49歩 57玉 47金 67玉 68歩 同銀成 57金 77玉 67金 78玉 77金 88玉 87金 78玉 79歩 67玉 77金 57玉 67金 47玉 48歩 58玉 59歩 同金 57金 48玉 47金 38玉 37金 48玉 49歩 57玉 58歩 同成銀 47金 67玉 57金 77玉 78歩 68玉 67金 78玉 79歩 同金 77金 68玉 69歩 同金右 67金 78玉 77金 88玉 87金 78玉 79歩 67玉 68歩 同成銀 77金 57玉 67金 47玉 48歩 58玉 57金 48玉 47金 38玉 37金 48玉 49歩 57玉 58歩 同成銀 47金 67玉 68歩 同金 57金 77玉 78歩 同金 89桂 68玉 69歩 同金上 67金 78玉 79歩 87玉 88歩 同銀成 77金 まで 107手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							皇	皇	五
								飛	六
遊	王	金						王	七
皇	王			王					八
	桂	歩	王	王	歩	王			九

持駒 なし

受賞コメント 神無七郎

本作に投票して下さった皆様、ありがとうございます。この作品は歩で金を一つずつ横に移動する単純な趣向が出发点だったのですが、「途中で動けない駒があったら、馬跳びのように跨ぐ移動ができるのでは？」と思い立ち、金の中に不純物を混ぜ始めた結果、その趣向とは似ても似つかないものに仕上がった作品です。一旦置いた歩が邪魔駒になる手順や、金や成銀の翻弄などが織り込めたので、作品自体の出来には満足していますが、当初思い描いていた「馬跳び型の移動」が実現できなかったのは少し心残りです。機会があれば、元の発想に沿った素直な趣向作を図化してみたいと思います。

★ シンプルな軽趣向と思わせて実は精巧な謎解きを含むパズル。七郎さんらしい作品といえるでしょう。

酒井博久 1位

比較的シンプルな構造から守備駒の入れ替えパズルは精妙。

上谷直希 2位

なんといいですか、ここまでできるんですか!?

soga 2位

細かく往復しながら歩18枚を使い切って、駒繰りをしていく様子が答えを眺めているだけでも不思議でならない。

たくぼん 2位

実際に解いた感想は難解かつ巧妙です。

🌀 3位 長3 平やっくん&たくぼん 2014/2
第60回 WFP 作品展 60-11
強欲協力詰 105手

10pt

強欲協力詰 105手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	金		金	金	全	全	歩	歩	一
龍	歩	歩	歩	歩	歩	歩	入	角	二
	角	桂					桂	香	三
桂							入	香	四
龍							香	入	五
							香	入	六
						入	入	銀	七
		入	入	入	入				八
遊				圭	王	王	王		九

持駒 なし

49圭 同玉 99龍 89と 同龍 79と 同龍 69と 同龍 59と 同龍 同玉 48銀 同玉 47角成 同玉 38銀 36玉 37銀 25玉 26銀 14玉 15銀 13玉 24銀 12玉 11桂成 同玉 21全 同玉 31全 同玉 41金 同玉 51金 同玉 61桂成 同玉 71金 同玉 82桂成 61玉 72圭 51玉 62圭 41玉 52圭 31玉 42圭 21玉 32圭 同と 同龍 同玉 33歩 43玉 44歩 同玉 35銀 33玉 34歩 43玉 44歩 54玉 55歩 同玉 46銀 44玉 45歩 34玉 35歩 25玉 26歩 同玉 37銀 35玉 36歩 45玉 46歩 56玉 57歩 同玉 48銀 46玉 47歩 36玉 37歩 27玉 28歩 同玉 39銀 37玉 38歩 47玉 48歩 36玉 37歩 同玉 38歩 27玉 28歩 同金 同銀 38玉 39金 まで 105手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
					歩	王	銀		八
						金			九

持駒 なし

受賞コメント 平やっくん

3位と聞いてビックリ。多分、実際評価されたのはたくぼんさん担当の部分でしょう。

私の創った部分はあまりにも単調すぎるよう
で、たくぼんさんなら絶対こんな創り方はしな
かったでしょうね。その意味では、こんな作品
ができたのは合作ならではの事だとは思われま
す。

受賞コメント **たくぼん**

私だけなら妥協していた部分を粘って改良し
て頂いた平井さんに感謝です。ネーミングも平
井さん考案で内容と見事にマッチしていたのも
高評価のおかげでしょうね。

★ 合作での受賞は多分初めてかな。創作余話
は解説稿を読んでいただければと思います。

占魚亭 1位

後半の歩 18 枚の消化手順が素晴らしいです。
何度も盤に並べました。

soga 1位

歩を手に入れる前半部と、手に入れた歩を使
った埋蔵金探索の 2 部構成が楽しい強欲煙。

4位 長 8 神無七郎 2014/4

Fairy of the Forest #39-04

協力詰 55 手

9pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
王									四
									五
王	皇	馬							六
	遊								七
	歩			歩					八
		香							九

持駒 桂4歩10

97歩 同玉 89桂 同歩成 98歩 96玉 97歩 同
飛成 88桂 同龍 85馬 97玉 98歩 同玉 99歩
同龍 76馬 97玉 98歩 96玉 85馬 87玉 88
歩 同と 76馬 96玉 97歩 同玉 98歩 同と
89桂 96玉 97歩 同と 85馬 87玉 88歩 98
玉 76馬 89玉 67馬 88玉 89歩 87玉 76馬
96玉 88桂 同龍 85馬 87玉 88歩 同と 76
馬 96玉 95飛 まで 55手

上谷直希 1位

自然な舞台装置から繰り広げられる、粘りあ
る手順は垂涎もの。

酒井博久 3位

よくこの駒数でまとまったもの。軽量級なが
ら完成度は高い。

たくぼん 3位

少ない駒数でこの完成度は凄い。

5位 長 19 荻江香木 2014/2

記録に挑戦！攻方連続不成回数

協力詰 233 手

8pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
科				歩		王		金	一
王	皇	香	金	歩	歩		歩	歩	二
			香			王			三
遊	遊		遊		飛	桂			四
						歩	歩	歩	五
		科			王				六
	遊			桂		香			七
					銀				八
		皇				香			九

持駒 なし

43 飛生 24 玉 23 飛生 14 玉 13 飛生 24 玉 14
飛生 33 玉 13 飛生 44 玉 43 飛生 54 玉 53 飛
生 44 玉 54 飛生 33 玉 53 飛生 43 歩 同飛生
24 玉 23 飛生 14 玉 13 飛生 24 玉 14 飛生 33
玉 13 飛生 44 玉 43 飛生 54 玉 53 飛生 44 玉
54 飛生 33 玉 53 飛生 43 歩 同飛生 24 玉 23
飛生 14 玉 13 飛生 24 玉 14 飛生 33 玉 13 飛
生 44 玉 43 飛生 54 玉 53 飛生 44 玉 54 飛生
33 玉 53 飛生 43 歩 同飛生 24 玉 23 飛生 14
玉 13 飛生 24 玉 14 飛生 33 玉 13 飛生 44 玉
43 飛生 54 玉 53 飛生 44 玉 54 飛生 33 玉 53
飛生 43 歩 同飛生 24 玉 23 飛生 14 玉 13 飛
生 24 玉 14 飛生 33 玉 13 飛生 44 玉 43 飛生
54 玉 53 飛生 44 玉 54 飛生 33 玉 53 飛生 43
歩 同飛生 24 玉 23 飛生 14 玉 13 飛生 24 玉
14 飛生 33 玉 13 飛生 44 玉 43 飛生 54 玉 53
飛生 44 玉 54 飛生 33 玉 53 飛生 43 歩 同飛
生 24 玉 23 飛生 14 玉 13 飛生 24 玉 14 飛生
33 玉 13 飛生 44 玉 43 飛生 54 玉 53 飛生 44
玉 54 飛生 33 玉 53 飛生 43 歩 同飛生 24 玉

97銀 同玉/79銀 88銀 96玉 86飛 同圭/28飛
 97銀 95玉 25飛 85圭 86銀 96玉 97銀 同
 玉/79銀 88銀 96玉 26飛 76圭 97銀 95玉
 25飛 75圭 86銀 96玉 97銀 同玉/79銀 88
 銀 96玉 26飛 66圭 97銀 95玉 25飛 65圭
 86銀 96玉 97銀 同玉/79銀 88銀 96玉 26
 飛 56圭 同飛/21桂 95玉 96飛 同玉/28飛 97
 銀 95玉 25飛 同全/28飛 86銀 96玉 97銀
 同玉/79銀 88銀 96玉 26飛 36全 97銀 95
 玉 25飛 35全 86銀 96玉 97銀 同玉/79銀
 88銀 96玉 26飛 46全 97銀 95玉 25飛 45
 全 86銀 96玉 97銀 同玉/79銀 88銀 96玉
 26飛 56全 97銀 95玉 25飛 55全 同飛/71
 銀 75と 86銀 96玉 97銀 同玉/79銀 88銀
 96玉 56飛 66と 97銀 95玉 55飛 65と 86
 銀 96玉 97銀 同玉/79銀 88銀 96玉 56飛
 同と/28飛 97銀 95玉 25飛 55と 86銀 96
 玉 97銀 同玉/79銀 88銀 96玉 26飛 46と
 97銀 95玉 25飛 45と 86銀 96玉 97銀 同
 玉/79銀 88銀 96玉 26飛 36と 97銀 95玉
 25飛 35と 86銀 96玉 97銀 同玉/79銀 88
 銀 96玉 26飛 同と/28飛 97銀 95玉 86銀
 同香/79銀 まで 148手

変寝夢 2位
 スッキリした手順が買いです

6位 長6 神無七郎 2014/1
 Fairy of the Forest #38-02
 協力詰 97手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					皇				一
					角				二
					銀	王	角	並	三
銀									四
歩	銀						科		五
香	王	香							六
桂		科	銀						七
金		香							八
龍		手							九

持駒 歩16

44銀生 53歩 87金 同玉 88歩 同玉 89歩 同
 桂成 53銀生 97玉 44銀生 88玉 53銀生 87

玉 88歩 86玉 44銀生 53桂 87歩 同玉 88
 歩 同玉 53銀生 87玉 88歩 86玉 98桂 同龍
 44銀生 53桂 87歩 同玉 88歩 同玉 53銀生
 87玉 99桂 同圭 88歩 86玉 44銀生 53桂
 87歩 同玉 88歩 同玉 89歩 同圭左 53銀生
 87玉 88歩 同龍 79桂 同龍 88歩 86玉 44
 銀生 53桂 87歩 同玉 88歩 同玉 53銀生 87
 玉 88歩 86玉 98桂 同圭 44銀生 53桂 87
 歩 同玉 88歩 同玉 53銀生 87玉 99桂 同圭
 寄 88歩 86玉 44銀生 53桂 87歩 同玉 88
 歩 同玉 89歩 同龍 53銀生 97玉 44銀生 86
 龍 89桂 88玉 35銀 87玉 79桂 まで 97手

酒井博久 2位
 2枚角の開き王手による合駒入手、それを使
 ったの守備駒移動。うまく出来ている。

9位 長11 小林看空 2014/10
 Fairy of the Forest #41-04
 協力詰 261手

2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
と	銀	金	と	金	金	金	銀	と	三
	香	歩		香	歩	歩	歩	歩	四
又								と	五
角	桂	桂	桂	歩			桂	と	六
と	歩	銀	飛	並	銀	王	歩	と	七
	香	皇	歩	歩			香		八
王									九

持駒 なし

98と 89玉 99と 79玉 89と 69玉 79と 59
 玉 69と 49玉 59と 39玉 49と 29玉 39
 と 19玉 18と 同玉 17と 同玉 16と 18玉
 17と 19玉 18と 同玉 29と 17玉 18と 16
 玉 17と 25玉 16と 35玉 25と 45玉 35と
 55玉 45と 65玉 55と 75玉 65と 同玉 64
 と 55玉 65と 45玉 55と 35玉 45と 25玉
 35と 15玉 25と 16玉 15と 17玉 16と
 18玉 17と 19玉 18と 29玉 19と 39玉 29
 と 49玉 39と 59玉 49と 69玉 59と 79
 玉 69と 89玉 79と 98玉 89と 97玉 98と
 96玉 97と 85玉 94銀生 同と 96と 75玉
 85と 65玉 75と 55玉 65と 45玉 55と 35

玉 45 と 25 玉 35 と 15 玉 25 と 16 玉 15
 と 17 玉 16 と 18 玉 17 と 19 玉 18 と 29 玉
 19 と 39 玉 29 と 49 玉 39 と 59 玉 49 と
 69 玉 59 と 79 玉 69 と 89 玉 79 と 98 玉 89
 と 97 玉 98 と 96 玉 97 と 95 玉 94 と 85 玉
 96 と 75 玉 85 と 65 玉 75 と 55 玉 65 と
 45 玉 55 と 35 玉 45 と 25 玉 35 と 15 玉
 25 と 16 玉 15 と 17 玉 16 と 18 玉 17 と 19
 玉 18 と 29 玉 19 と 39 玉 29 と 49 玉 39 と
 59 玉 49 と 69 玉 59 と 79 玉 69 と 89 玉 79
 と 98 玉 89 と 97 玉 98 歩 96 玉 97 歩 85 玉
 95 と 75 玉 85 と 65 玉 75 と 55 玉 65 と 45
 玉 55 と 35 玉 45 と 25 玉 35 と 15 玉 25 と
 16 玉 15 と 17 玉 16 と 18 玉 17 と 19 玉
 18 と 29 玉 19 と 39 玉 29 と 49 玉 39 と 59
 玉 49 と 69 玉 79 と 同馬 59 と 78 玉 69 と
 89 玉 79 と 98 玉 89 と 97 玉 98 と 96 玉 97
 と 85 玉 96 と 75 玉 85 と 65 玉 75 と 55
 玉 65 と 45 玉 55 と 35 玉 45 と 25 玉 35 と
 15 玉 25 と 16 玉 15 と 17 玉 16 と 18 玉
 17 と 19 玉 18 と 29 玉 19 と 39 玉 29 と 49
 玉 39 と 59 玉 49 と 69 玉 59 と 78 玉 69 角
 89 玉 78 角 79 玉 69 と まで 261 手

酒井博久 次点
 力作。

たくぼん 次点
 やはりこの長手数を導き出した機構に感心。

10位 長7 小林看空 2014/1
 Fairy of the Forest #38-03
 協力詰 111 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		香	香						一
									二
	金	角	角	金					三
	銀	王		桂					四
銀				銀					五
	香	香	香	桂	香	香			六
				王	桂				七
							銀		八
						香			九

持駒 歩22

48 歩 58 玉 59 歩 68 玉 69 歩 78 玉 79 歩 88

玉 89 歩 97 玉 98 歩 96 玉 64 王 87 玉 88 歩
 77 玉 78 歩 67 玉 68 歩 57 玉 58 歩 46 玉 74
 王 64 桂 47 歩 同玉 48 歩 58 玉 59 歩 68 玉
 69 歩 78 玉 79 歩 88 玉 89 歩 98 玉 99 歩 97
 玉 98 歩 96 玉 64 王 74 歩 97 歩 87 玉 88 歩
 77 玉 78 歩 67 玉 68 歩 57 玉 58 歩 46 玉 38
 桂 同桂成 74 王 64 桂 47 歩 同玉 48 歩 58 玉
 59 歩 68 玉 69 歩 78 玉 79 歩 88 玉 89 歩 97
 玉 98 歩 96 玉 64 王 74 歩 97 歩 87 玉 88 歩
 77 玉 78 歩 67 玉 68 歩 57 玉 49 桂 同圭 58
 歩 46 玉 74 王 64 桂 47 歩 同玉 48 歩 58 玉
 59 歩 68 玉 69 歩 78 玉 79 歩 88 玉 89 歩 97
 玉 98 歩 96 玉 64 王 87 玉 88 歩 77 玉 78 歩
 67 玉 68 歩 57 玉 58 歩 46 玉 38 桂 まで 111
 手

酒井博久 次点
 力作

10位 長9 小林看空 2014/7
 Fairy of the Forest #40-03
 協力詰 77 手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
銀			香						四
銀	金	銀	銀	金	金	金	角	角	五
香	桂	桂	歩	桂	桂	歩	歩	歩	六
香						香		香	七
飛	歩			歩	王				八
王									九

持駒 香歩

49 歩 58 玉 87 歩 47 玉 48 歩 37 玉 39 香 38
 香 同香 同玉 47 歩 27 玉 29 香 28 香 同香
 17 玉 19 香 18 香 同香 同玉 27 香 同玉 29 香
 28 香 同香 37 玉 39 香 38 香 同香 28 玉 37
 香 同玉 39 香 38 香 同香 47 玉 49 香 48 香
 同香 38 玉 47 香 同玉 49 香 48 香 同香 57 玉
 59 香 58 香 同香 48 玉 57 香 同玉 59 香 58
 香 同香 67 玉 69 香 68 香 同香 58 玉 67 香
 同玉 69 香 68 香 同香 77 玉 79 香 78 香 同香
 87 玉 97 飛 78 玉 98 飛 77 玉 79 香 87 玉
 88 香 まで 77 手

酒井博久 次点
力作

【長編部門・総評】

橋本孝治

昨年は sogal 氏の作が圧倒的な存在感を示しました。本来であれば、WFP74 号の「詰将棋コンピュータについての補足」の記事にある、「KR2 シミュレータ」を推したいのですが、完全性の確認は（少なくとも私には）困難です。最終的には、簡単なプログラムを KR2 で書いて、「KR2 シミュレータ」が期待通りの動作をすることを確認した時、「詰将棋コンピュータは 2014 年に完成した！」と宣言することができるでしょう。これは「作品」というよりも「研究」として表彰すべき成果だと思います。

上谷直希

長編も少なめです…

【推理将棋・プルーフゲーム 短編部門】

投票者：橋本孝治、sogal、NAO、たくぼん、チャンプ 計 5 名

昨年度より短編と中長編を分離しましたがやや投票数が少なかったようです。2014 年ははなさかしろうさんが上位を占める結果となりました。唯一 DD++さんが同率 2 位になりました。

🌀 1 位 推 30 はなさかしろう 2014/11
詰将棋メモ 第 84 回出題 第 3 番
伏線とその回収 12 手

15pt

「今遊びに来てた連中、文芸部だっけ？ 腕前はどうかだった？」

「どうだかなあ。先手なんていきなり 1 筋に指したと思ったら、次は 6 8 玉だぞ」

「そのあと結局、後手が最後に 3 手連続で 1 筋に指して、1 2 手で詰んだよ」

「ふうん。全局通しで見ると、1, 8, 10, 1 2 手目が 1 筋で、3 手目が 6 8 玉というわけか」

「なるほど。伏線をはって、回収したってこと？」

棋譜を合作してたのかもね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

18 飛 34 歩 68 王 44 角 56 歩 33 桂 57 王 17 角成 46 王 18 馬 36 玉 16 飛 迄 12 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	飛	王	王	科	飛		皇	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	科	歩	歩	三
						歩			四
									五
				歩		王		飛	六
歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩		七
	角							銀	八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

受賞コメント はなさかしろう

裏側からのピンを狙って最短手数を探していたら、吸い寄せられるようにたどり着いた手順。条件もこうなるところで腕の揮いようがありません。なにかに魅入られたようで自作感がなく、どうにも空恐ろしい問題でした。

★。初手 18 飛を後手最終 3 手で回収する見事な手順。詰上りも見え難く難解。作者自身「空恐ろしい問題」というのも頷ける。

NAO 1 位

初手の伏線を最後に回収するスケールの大きな構想。アクロバチックな詰上がり。

チャンプ 1 位

初手▲18 飛に複数の意味を持たせる構成（発見）は素晴らしいの一言。手順・条件・詰み上がりと三拍子揃った名作。本来迷うことなくこの作品がすんなり 1 位で決まりそうなところだが、昨シーズンの作者の作品は好作&難問が多く選考に悩みました。

たくぼん 1 位

今期は本作で文句なし。ストーリーが素晴らしすぎる。

🌀 2位 推6 はなさかしろう 2014/3
詰将棋メモ 第76回出題 3番
相乗効果 13手

5pt

「13手で詰んだって」
「金右と指したら、相手は2筋の手で応じたよ」
「55への着手で駒柱が完成したね」
「成る手はなかったな」
「それにしても、13とか金とか、駒柱とかって...」
「マイナス掛けるマイナスはプラスってことで、どうかな？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 52金左 33角不成 同桂 58金右 25桂
38飛 37桂不成 同飛 56角 54桂 55角 31飛
不成 迄 13手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	季	王		飛		皇	一
	飛			季					二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
				桂					四
				馬					五
		歩		馬					六
歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	七
				金					八
香	桂	銀	金	王		銀	桂	香	九

持駒 銀歩

受賞コメント はなさかしろう

5筋駒柱はDD++さんのコメントからの拝借です。手順探索と条件付けを頑張ったこともあり、これまで選題していただいた自作の中で最も好きな2問のひとつになりました。作るより解く方が難しい類の問題でして、取り組んでくださった皆様、ありがとうございました。

★ 駒柱を作る作品は過去にも会ったが、手順は実に難解。桂の使い方が記憶に残る。

たくぼん 2位

解けなかった。これには完敗。

チャンプ 3位

ここは選考に悩むも、超難問のこの作品を3位に推したい。本気で取り組んで解けなかった初めての作品。4手目の△33同桂に不利感がありすぎて正解ににじり寄りすることすら出来ず完敗（白旗）。

🌀 2位 推17 DD++ 2014/7

詰将棋メモ 第80回出題 2番
将棋ソフトの謎戦術 (B) 9手

5pt

「この将棋ソフト、なんか戦術おかしくない？」
「どうも棋譜に『44角』と記録されると必ず『62飛』と応じるみたいだね。

実際にそのやりとりが行われた棋譜が2つある」

「どちらも9手で詰んでるね。

こちらは先手が成る手2回で銀歩を取ったのか。

もう1つは先手が成る手2回で金歩を取ってるんだね」

「何にしる、このソフトは使い物にはならないね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 32飛 33角成 42金 32馬 44角 62飛
22銀 42飛成 迄 9手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	季	王			科	皇	一
					龍	馬	爵		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
					馬				四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 金歩

受賞コメント DD++


9手詰でこの順位は FairyTopIX 史上初ですかね。わりと習作扱いされやすい9手ですが、9手でも良作は存在するという主張の根拠の1

つになれたら嬉しいです。

★ DD++さんの推 16 とのセットで評価されればもっと上位にいったかもしれない。別々とした為ちょっと残念でした。

soga 1位

たった一文字の違いで、4 4 角と6 2 飛の手番が交代する見事なツイン作。△ 4 4 角と▲ 6 2 飛の組み合わせのほうが意外性があったので、こちらを上としました。

 2位 推 27 はなさかしろう 2014/10
詰将棋メモ 第 83 回出題 3 番
夜は長い季節は端で 12 手

5pt

「12 手で詰んだって？ 暦好きの君らしいね。それで、どんな将棋だったの？」

「最初の 3 手と最後の 3 手が端の筋の手で、それから…」

「ちょっと待った。つまり、1、2、3、10、11、12 手目が端の筋の手だったんだね？」

「そう。それで、その 6 手は互いに異なる段の手だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

96 歩 12 香 97 桂 34 歩 68 王 77 角不成 78 玉 88 角不成 89 玉 11 角打 98 玉 99 角成 迄 12 手

受賞コメント はなさかしろう

推 30『伏線とその回収』の条件決めの時に、「1 筋」の「端」への拡張を狙ったらばたばたと出てきた余詰順のひとつ。よくある狙いですが条件と詰み形がほど良くまとまり、嬉しかったのですが… 出題前に DD++さんに余詰指摘をしていただき、大感謝です。

★ ストーリーの見える作品は評価される典型でしょう。はなさかしろうさんの作品に共通する特徴ですね。

チャンプ 2位

無理のない 1 条件に加えて手順も洗練されており、推理将棋の魅力を十分に引き出してい

る良作。通例だと△ 12 香の露骨な一面が目立ちすぎるが、スマートな条件設定が、上手く狙いと無駄手の感触を打ち消している。

NAO 3位

序の 3 手と終盤の 3 手が見事に繋がる。玉の運び方を推理させる好作。

5位 推 12 チャンプ 2014/5
詰将棋メモ 第 78 回出題 3 番
超一流のスイーパー 13 手

3pt

女「貴方の腕を見込んである男と対決して欲しいの。」

男「美女の頼みを断るほど俺は野暮じゃないぜ。」
(おっ！ すごえもっこりちゃん！)

女「将棋のルールは知ってるかしら？」

男「玉に狙いを定めて撃ち抜けばいいんだろ？」
(え？ なに？ 将棋で対決なの？)

女「まあそうね、お願いできるかしら？」

男「任せておきな・・・これでどうだい？」(えーい、こうなったらヤケクソだ！)

女「流石ね、13 手目▲ 51 角不成、初王手で見事に詰みに討ち取ったわ。」

男「美女との約束は必ず守る主義でね。」(え？ なにがどうなった？)

女「7 手目の飛打ちが唯一の駒打ちとは無駄がないわね。」

男「どんな敵でも一撃で仕留めるのが俺の流儀さ。」(ひょっとして上手くいった？)

女「8 手目の小駒の手に対して 9 手目に同じ筋への小駒の手で合わせたところが素敵だったわ。」

男「照準を合わせた時点で俺の勝ちは決まっていたな。」(それっぽく言うておこう)

女「ありがとうおかげで助かったわ、ところで報酬はいくらかしら？」

男「金なんて要らないさ、報酬は君の身体で・・・。」
(それでは、いただきますーす)

？「この、もっこり男がああああああ～～天誅うううう～～【100t ハンマー発動】」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76 歩 42 飛 33 角不成 62 玉 42 角不成 74 歩
14 飛 75 歩 77 桂 73 玉 24 角不成 84 玉 51
角不成 迄 13 手

たくぼん 3位

スケールの大きさに一票。話も面白い。

チャンプ 次点

はなさか帝国軍に一矢報いるとしたらこの自
作かと予想した上での次点選出。自分の中
ではそれなりに上手く仕上がった作品だと満
足しているが今回は相手が悪い。ただし文章
を仕上げるのに費やした時間は間違いなく
No.1 だと思う (笑)

5位 推 15 渡辺 2014/6

詰将棋メモ 第 79 回出題 3 番

金一枚違う 11 手×2

3pt

A 「11 手で詰めて勝ったよ。ほら」
B 「奇遇だね。僕もそうだよ。あら、僕のも同
じ局面かな？ 82 に銀があるし」
A 「いや、盤面は同じだけど駒台を見ると僕
の方が金一枚多いよ」
B 「なるほど、実力は金一枚違う、という訳だ
ね。ところで僕は後手の金を
同角生と取ったんだ」
A 「僕もそうだよ。だけど君とはそのときの角
移動の左右の向きが違うんだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

A : 76 歩 62 金 33 角不成 61 玉 51 角不成 92
飛 62 角不成 51 金 同角不成 82 銀 62 金 迄
11 手

B : 76 歩 52 玉 33 角不成 51 金左 同角不成 92
飛 72 金 82 銀 61 金 同玉 62 金 迄 11 手

NAO 2位

盤面同じで持駒が異なる詰上がりの謎を解く
本格推理問題。連立推理将棋の新しい可能性
を示した。

5位 推 16 DD++ 2014/7

詰将棋メモ 第 80 回出題 1 番

将棋ソフトの謎戦術 (A) 9 手

3pt

「この将棋ソフト、なんか戦術おかしくない？」
「どうも棋譜に『44 角』と記録されると必ず『62
飛』と応じるみたいだね。

実際にそのやりとりが行われた棋譜が 2 つあ
る」

「どちらも 9 手で詰んでるね。こちらは先手が
成る手 2 回で銀歩を取ったのか。もう 1 つは先
手が成る手 2 回で金歩を取ってるんだね」

「何にしろ、このソフトは使い物にはならない
ね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76 歩 34 歩 22 角不成 52 玉 31 角成 51 金左
44 角 62 飛 53 角成 迄 9 手

soga 2位

たった一文字の違いで、推 1 7 と 4 4 角・6
2 飛の手番が交代している見事なツイン。途
中下車ではなく、取って打つという手順も単
体で見て面白いと思いました。

8位 推 29 ミニベロ 2014/11

詰将棋メモ 第 84 回出題 2 番

条件の多い 9 手詰 9 手

2pt

「新しい推理将棋作ったんだけど、見てくれな
い？」

「どれどれ、条件はどんなの？」

「5 筋の手が 4 連続であって、4 筋の手が連続
であったの」

「なるほど、それだけね」

「いや、まだあるの。2 筋の手があって、『左』
の手もあったんだ」

「何それ？ 条件多すぎ！ よほどの大作なん
だろうね」

「ところが 9 手詰作品なんだ」

「だめだめそんなの。誰も解いてくれないよ、
センスないね」

「そう言わないで、やってみてよ」

というわけで、解いてやってくださいな。

76 歩 24 歩 33 角不成 42 銀 同角不成 52 玉
58 金左 54 歩 53 銀 迄 9 手

soga 3位

無駄手が好きなので、こういう作品大好きです。

9位 推 39 一乗谷酔象 2014/9
第 66回 WFP 作品展 66-10
樋内一族の四兄弟 9手

1pt

樋内一族の四兄弟は街のならず者だ。
飛車打ちがあって成る手がない将棋でたったの
9手で相手をぶっ倒した。
一郎「俺が飛車を打ったのは一段目。
打つ手が2回と銀の手があったね」
二郎「俺が飛車を打ったのは二段目。2手目は
5筋で止めの1手は角の手だった」
三郎「俺が飛車を打ったのは三段目。
もちろん2手めは5筋だ」
四郎「俺が飛車を打ったのは四段目。
2手目は6筋さ」

さて、樋内一族四兄弟の指した4つの対局とは、
どんな将棋だったのだろうか？

- 76歩 34歩 22角生 52金右 61角 72飛 同角
生 42銀 61飛 まで9手
- 76歩 54歩 55角 74歩 82角生 42玉 92飛
51金右 64角生 まで9手
- 76歩 52金左 55角 74歩 82角生 62金上 73
飛 61玉 71飛生 まで9手
- 76歩 62飛 44角 54歩 62角生 52玉 51角
生 55歩 54飛 まで9手

橋本孝治 次点

推理将棋の基本手筋を集めた4点セット。難
しいのは「一郎」だけですが、ユーモラスな命
名と条件の分かりやすさで、楽しめる組局だっ
たと思います。

【推理将棋・プルーフゲーム 短編部門総評】

チャンプ

短編部門については、はなさかしろうさんの
表彰台独占も有り得るのではないでしょう
か。少なくともワンツーフイニッシュは堅い
と思います。結果や如何に？

【推理将棋・プルーフゲーム 中長編部門】

投票者：橋本孝治、soga、チャンプ、たくぼん
計4名

候補作も少ないせいか、4名の投票でした。

🌀 1位 推 5 チャンプ 2014/7
第 64回 WFP 作品展 64-13
角への執着の果て 18手

13pt

「さっきの将棋、10手目に君が歩で角取りをし
た局面だけを見たんだけど結局どうだったの？」
「実はあの将棋4手目から最後まで縦横の十字
方向から角取りを掛け続けたんだよ」
「え？そんな最初の方から執拗に角を追い掛け
回してたんだ」
「うん、ただ一局を通じて角を取れる局面が
一度もなかったんだ」
「あら、それは残念だったね、それで何手で
負けちゃったの？」
「いや、それが18手目に角取りを掛けたら先
手玉が詰んじゃったんだよ」
「勝っちゃったの？それはきっと角の神様が微
笑んでくれたんだね」
「でも、角が取れなかったから嬉しさ半分って
とこだけだね」
さて、どんな将棋だったのでしょか？

- 76歩 44歩 同角 42飛 26角 46飛 36歩 同
飛 44角 43歩 88角 38飛生 68銀 同飛生 79
角 78銀 88角 69銀成 まで18手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	王	王	將	科	皇		一
							馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	七
	角		將				飛		八
香	桂		王	玉	金	銀	桂	香	九

攻方持駒 歩
受方持駒 金

受賞コメント チャンプ

今作が中・長編部門の1位に選ばれたという報が届き、大変光栄に思います。

創作時期は2年ほど前に遡ります。元ネタとしては先手角に取りを掛け続けた結果、後手玉が詰まされるという別の作品を出題したのがきっかけでした。その後、橘圭伍さんの「後手の角取り条件のまま先手玉が詰むパターンはなるだろうか？」という、つぶやきから生まれたのが今回の作品です。当時そのコメントを見た瞬間、その方が明らかに面白いなと思い、何気なく掘り下げて考え始めたのを覚えています。そんな偶然が重なった上での発見にも関わらず、最初から狙っていたかのようなこの手順が簡素な条件の下たった18手で実現したのは、いろんな意味で奇跡的な作品だと今でも思っています。

自作いち推しの作品が、他の皆さんにも評価して頂けたことは作者冥利に尽きます。解答ならびに投票して頂いた方々に厚く御礼申し上げます。今回の授賞を励みに今後も解答者の皆さんの心を打つような作品を創作していければと思います。この度は誠にありがとうございました。

★角取りをかけながら先手玉を詰ますユニークな展開だが収束が秀逸。この印象が好結果に繋がったと思います。作者も1票入れていますが、なくても1位ですので問題なし。

soga 1位

角を追っかけながら、先手玉を詰ますという面白い条件。還元角に空き角手を決める最終形も面白い。

チャンプ 1位

自作の中では今回はこの作品で上位入賞を狙いたい。とても自信を持って1条件とは言えませんが、きつい制約がある中でこの手順を発見できたことは僥倖そのもの。一度盤で並べてみて頂きたい自慢の一作です。

たくぼん 2位

ラストの鮮やかさで印象がぐっと良くなりますね。難解さ以外で解答者を引き付ける内容だと思います。

「さっきの将棋、先手番の君が13手目に24歩と打った後、相手も16手目に歩を打ったね。君が21手目に玉を動かす処まで見ていたけど、その後どうなったの？」

「飛車の手に対する応手は必ず大駒の手だったね。29手目に歩を打ったら後手も歩を打ってきた。そして、その10手後の39手目の歩打ちのときも更にその10手後の49手目の歩打ちのときも直後に歩を打たれて対抗されたよ」

「ということは歩打は、13,16手目のほか、29,30手目、39,40手目、49,50手目ということだね。なかなかの接戦だったみたいだけど、勝負はどうなったの？」

「驚いたことに『同と』の手がずっと連続して8回目の『同と』で負けちゃった」

「え？ どういうこと？」

「細かく言うと51手目から『同と引 同と引、同と寄 同と寄、同と左 同と左、同と 同と』迄58手で詰まされちゃったんだよ
さて、どんな将棋だったのだろうか？

26歩 64歩 25歩 65歩 24歩 66歩 23歩成
67歩成 33と 57と 43と 56と 24歩 46と
23歩成 66歩 24と 67歩成 25と 66と 58
玉 65と 26と 52飛 48飛 77角成 44と 64
と 54歩 36歩 53歩成 37歩成 54と引 36と
引 55と 35と 56と 34と 54歩 36歩 53歩
成 37歩成 54と引 36と引 55と引 35と引
36と 54と 59歩 45歩 同と引 同と引 同と
寄 同と寄 同と左 同と左 同と 同と まで 58
手



詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	金	王	金	將	科	皇	一
				飛					二
歩	歩	歩						歩	三
									四
					ス				五
									六
歩	歩	銀			歩			歩	七
	角			玉	飛				八
香	桂	銀	金	歩	金	銀	桂	香	九

攻方持駒歩4

受方持駒歩4

受賞コメント 一乗谷酔象

本作品は、同一地点に同種駒の最大8連続「同」と詰みの最短手数解を主眼としています。本来、手数探索問題ですので強引な条件付けは不要かもしれません。8回の歩打ち指定は解いてもらうための道標ですが、まだ難解でした。長編問題のネタは前の年に出し尽くした感がありますが、今後も探索していい素材を発見していきたいと思えます。解図に挑戦された方々、投票して下さった皆様に感謝いたします。

★ 題名通りの「怒涛の同と」手順が、解答者を魅了します。今期の一乗谷氏作品群でも群を抜く難解作。

橋本孝治 1位

一乗谷氏の作品群は「謎解き」というより究極の記録への挑戦結果の「報告書」ですね。この種の作品では、挑戦対象の面白さが作品評価の大きなウェイトを占めますが、一番面白いテーマだったのが、この「怒涛の同と」でした。この華やかな「同と」ラッシュをわずかに58手で実現した快挙を、原案のNorman氏と共に讃えたいと思えます。

たくぼん 3位

時間がなく挑戦できず本当に口惜しかった作品。手順を見てその素晴らしさに感嘆。

🌀 3位 推6 一乗谷酔象 2014/10
第67回 WFP 作品展 67-12
威風堂々、斯々然々 54手

「誇らしげに胸を張ってご機嫌だね。なにかいいことあった？」
「たったの54手で詰ませて圧勝したよ」
「ホントかい？どんな将棋だった？」
「斯く斯く然々、相手の態度が癪に障ったから、全駒で負かせてやった」
「それじゃわかんないよ。」
相手はどんな手を指したんだい？」
「先手は指し手の順番に不思議なこだわりがあって、不成と指した駒を後手に取られたとき、先手の応手は必ず歩を突く手だった。そして、先手が4段目の手を指した次の手では、不成の手を指すことがなかった。そんな指し回しが癪に障ったね」

「それでどうしたんだい」
「10手目以降、相手が直前に着手した駒をひたすら堂々と取り続けたよ。それも角だけでね」
「相変わらず、強欲な奴だな。抵抗されなかったのかい」
「この将棋、成る手は1回もなかったんだけど、同角不成の手に対しては駒を打たれる応手が1回だけあった。玉頭に駒を打つ手もあったけど駒を打った場所は全部で4カ所だけだったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 42飛 33角生 44歩 同角生 同飛 26歩
52角 16歩 同角 25歩 同角 13香生 同角 36歩
同角 14歩 同角 46歩 同角 23飛生 同角
56歩 同角 28銀 同角生 17桂 同角生 39金
同角生 75歩 同角生 74歩 同角 96歩 同角
74歩 同角 47歩 同角生 93香生 同角 66歩
同角 14歩 同角生 88銀 同角生 79金 同角生
97桂 同角生 86歩 同角生 まで 54手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	金	王	金	將	科	皇	一
									二
	歩	歩	歩	歩					三
					飛			角	四
									五
	銀								六
									七
									八
				玉					九

持駒 なし

受賞コメント 一乗谷酔象

本作品は、10手目以降同角の最大、23連続

5pt

同角を狙いとしています。駒打4カ所が工夫した条件ですが返って難しくなったかもしれません。飛角と玉が離れた詰上り形が気に入っております。

★ 23連続同角で詰す謎もそうだが、条件に合致する手順が実に見え難く純正解者0の作品。

たくぼん 1位

散々考えた挙句、条件合致手順が分からなかった。23連続同角だけでもすばらしいがそれ以上に手順が素晴らしかった。こういう作品を今後もよろしくお願いします。

4位 推7 一乗谷酔象 2014/11
第68回 WFP 作品展 68-10
威風堂々、同飛車大学 53手

3pt

「ご機嫌だね。またなんかいいことあった？」
 「53手目に全駒で詰ませて勝っちゃった」
 「ホント？ 相手はどんな手を指してきたの？」
 「後手は、1筋から6筋まで順番に指す手も含めて10回連続で歩を突いてきた。それから、6種の駒を各々二連続ずつ続けて指してきたよ」
 「なるほど。どんな手で応戦したんだい？」
 「9手目以降は、相手が直前に着手した駒をひたすら堂々と取り続けたよ。それも飛車だけでね」
 「相変わらず、強欲なやつだな。それから？」
 「打った飛車は結局20回連続して動いたよ。この将棋、成る手は1回もなかったけど、金頭への着手があった。駒を打った場所は全部で5カ所だけだったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 52金左 55角 74歩 82角生 75歩 92飛 94歩 同飛生 84歩 同飛 14歩 同飛 24歩 同飛 34歩 同飛 44歩 同飛 54歩 同飛 64歩 同飛 62金寄 同飛生 72金 同飛生 82銀 同飛生 32銀 同飛生 33桂 同飛生 73桂 同飛生 76歩 同飛生 78歩 同飛引 98角 同飛 99角生 同飛 97香生 同飛 92香 同飛生 18歩 同飛 17香生 同飛 11歩 同飛生 まで 53手

詰上図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					飛	一
飛										二
										三
										四
										五
										六
		歩		歩	歩	歩	歩	歩		七
										八
		桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

攻方持駒 角2 金2 銀2 桂2 香3 歩12
 受方持駒 なし

soga 2位

92飛が敵陣自陣狭しと駆け回る様子が面白い。

5位 推2 一乗谷酔象 2014/3
第61回 WFP 作品展 61-11

1pt

非王手連続スタイルメイト 23手 ※条件付

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	季	王	季	爵	科	皇		一
	飛							飛		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		三
										四
										五
										六
										七
	角							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香		九

持駒 なし

[条件]

- ・23手目は4回目の4筋の着手
- ・4連続で不成の手順あり
- ・4連続で成駒を動かす手順が3回

76歩 44角 53角成 71馬 81馬 91馬 82馬
 62飛 93馬 83馬 73馬 63馬 22飛成 45角
 23角生 41角生 52角生 61角生 33龍 13龍
 11龍 21龍 43角成 まで 23手

最終図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王		將	龍		一
									二
			馬		馬				三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

攻方持駒 金2 銀 桂2 香2 歩9
 受方持駒 なし

たくぼん 次点

この最終図は見破れなかった。参りました。

【推理将棋総評】

橋本孝治

中長編部門は全体の作品数が7作しかなく、しかも1作は余詰。(『night walker』が完全ならば投票したかったのですが、余詰は残念です。)短編部門は私がWFP作品展の分しか知らないなので、今回は各部門一作ずつ投票します。なお、短編部門では、私の投票が「ノイズ」になるのを避けたかったので、順位を付けずに(つまり1点で)投票しました。

【総評】

変寝夢

今年はAndernachが流行った一年でしたね。
 次のブームはなんでしょうか？

soga

全然作品を見られていないのですが、滑り込みでFairy TopIXに投票します。残念ながら時間がなく推理中長編は2作だけです。

久保紀貴

枯れ木も山の賑わしになればとお気に入り投票に参加させていただこうと思います。とは言ってもこれだけの数の作品に目を通して理解するのは難しかったので、一部見て1作だけ選ばせていただきます。

酒井博久

例によって自分が担当しているFOFから選びまし

た。他掲載作について目を通していない点は、悪しからず。短・中編は際立った作品はありませんでしたが、長編は粒揃い。特に七郎氏の充実ぶりが目を引きます。

上谷直希

今年は投票数が少なくなりましたが、よろしくお願ひします。

NAO

推理将棋PG短編部門のみです。

★ 皆さん投票ありがとうございました。厳正なる抽選の結果、バリィさんの切手シートはチャンプさんが当選となりました。チャンプさん事務局まで送り先をお知らせ下さい。

★ 今年たくさんの好作に出会い、次期のお気に入り投票が盛り上がりますことを期待します。

透明駒のご紹介

会場健大

以前から「Web Fairy Paradise 上にも透明駒のルール説明を!」という声をいただいております。遅ればせながら、今回投稿させていただきます。なお以下の内容は 2014 年度詰将棋全国大会において配布した資料とほぼ同様になります。さらなる作例やより高度な作品、今後の発展の可能性については今夏発行予定の「この詰将棋がすごい! 2015 年度版」に網羅的に詳述しましたのでぜひご覧ください。

まったく見えない駒が詰将棋に混じっていたら、どんなことが起こるのでしょうか？
実はそれでも、論理を駆使すればちゃんと詰将棋になるのです。
そんな透明駒の世界に皆様をご案内しましょう。

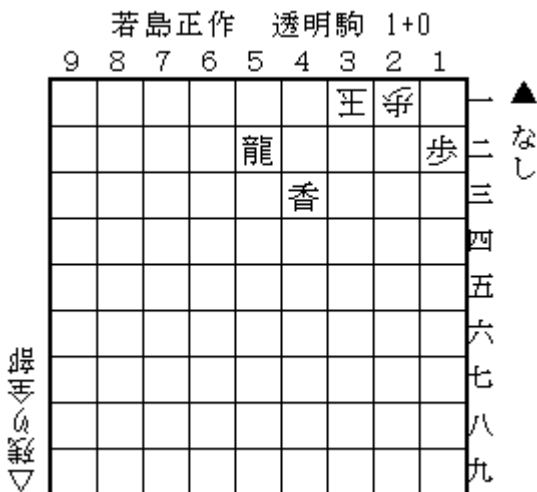
まず、透明駒とは……

「どこにあるかわからず、種類もわからない駒」……①

としましょう。見えないんだから仕方ありません。ただし、

「どこにあるかわかり、種類もわかったなら」見える駒に戻る……②

ことにします。



とりあえず、透明駒が先手に 1 枚あることにします。後手にはありません。この状況を、「透明駒 1+0」と書くことにします。
するとなんの変哲もない詰将棋に見える先の局

面が、とたんにややこしいことになります。それを考える前に、手の前提を決めておきましょう。

「指せた手は、すべて反則ではない」……③
「先手が指した手は、すべて王手である」……

④
透明な駒が邪魔していて、ここは通れないかもしれない……、玉に取りをにかけていないかもしれない……などと考えると、指せる手がなくなります。だから、まずえいやっと駒を動かしてみ、それによって透明駒の情報をつかんでいくことにしましょう。

たとえば、初手から 41 香成と指したくなります。③の原理から、これを着手した時点で 42 に先手の透明駒はいなかったことを認めていいことになります。では、これで詰んでいるのでしょうか？ そもそも透明な駒がいる状態での詰みとはどういう状態でしょうか？ それは、次のように定めます。

透明駒がいる局面においての詰みは、証明できなければならない……⑤

41 香成の局面でそれが証明できるのでしょうか。まず、42 には透明駒がないことは分かっています。したがって 32 玉とは指せません。龍の利きを遮るものがないからです。しかし 22 玉にはどうでしょうか。これは 22 の龍が利いているとみなせるのでしょうか。そうではないというのが後手の主張です。後手はこう言うでしょう。「たしかに、反則の手は指せない。しかし、現に 22 玉と指せた。したがって、22 玉は反則ではない。また、これが反則ではないということは、先手の透明駒が 32 にいると考えられ、かつそうとしか考えられない」
なんだか理屈っぽいですね。けれど、透明駒は徹頭徹尾理屈なのです。この理屈は実際に正しく、この局面は逃れています。

先手の他の手を考えてみましょう。「そうだ、透明駒で王手をしてみよう！」でも、どうやって？ 先手は透明駒を持っていることは持っていますが、いまだどこにいるかわからないし、見えない駒を動かしようがありません。そこで、とりあえず「見えないけど一手指したよ！」とすることにして、棋譜の書き方だけ決めておきましょう。

透明駒の着手は「-X」と書く……⑥

これは要するに何もわからんということです。ただし、先ほどの前提から、反則ではない手のどれかであり、もし先手の手ならば反則ではない王手のどれかになります。なんだかわからないがとにかく王手。こんな手受けようがないんじゃないか……と思いきや、これも 22 玉で逃れます。「22 に行けるということは、君は自分でもわからないうちに 32 か 42 に安い駒打ったんだよ」といわれておしまい。

「さてよ、透明駒にも相手の駒を取ることはできるはずだ」とお考えになるかもしれません。これはごもつともです。その場合どう見えるでしょうか。これはついたて将棋をイメージしてください。「駒が持っていかれた！ そうか、ここに何かいるのか……」となることでしょう。したがって、この場合にだけ、透明駒の位置はわかります。

透明駒が、○○に見えている駒を取ったときだけ、「○○X(または+○○)」と書く……⑦

したがって図の局面で 21X とすることもできます。21 の歩が消えて先手の駒台に乗りました。なんだかわかりませんが 21 から王手をかけられているようです。これには 21 玉と応じるしかありません。これで透明駒は後手に取られてしまいました。持ち駒歩だけではつかまりません。これも逃れ。

最後に、意図的に避けている説明があったことにお気づきでしょうか。じつは、先手の透明駒を簡単に特定することができるのです。初手 42 龍としてみます。これにも 22 玉とよろけて、「32 に何か君の駒があるよ」といわれてしまいますが、さて、その駒は何でしょうか。さっきまで後手玉が 31 にいたはずですが、そのときから先手の駒が 32 にいたことになるわけですが、この局面が反則にならない駒種はかなり限られています。前に利く駒は全部だめ。桂は？ これも、2 段目に桂不成をすることは反則ですから存在しようがありません。したがって、この駒は角だったんだな、ということがわかります。というわけで、22 玉の瞬間、先手の透明駒が「32 におり、角である」ことが判明するので、②よりふつうの見える駒に戻ります。ふつうの駒に戻ったということは、これまでのように-X と書

かねばならないしぼりが解け、位置や成生を表記してよくなったということを意味します。したがって、3 手目に 14 角成として詰みとなります。

このようにして、手を進める中で情報を絞り込み、最後の詰みを論理的に導くことが透明駒の難しさであり面白さです。

最後に、誤解の生じないようなきっちりしたルールをまとめておきます。

1、【透明駒の定義】

透明駒は位置、種類が不明の駒。40 枚のうちのいずれかであることと、先後それぞれが出題図の局面において所持する枚数のみ既知。

付則 1.1 (位置の定義)

「位置」とは、盤上の 81 マスと双方の駒台 2 ヶ所の計 83 箇所である。

1.2 (種類の定義)

「種類」とは、成生を区別した計 14 種とする。

2、【透明駒の表記法】

透明駒の棋譜表記は「-X」とのみ表記するものとし、位置や成生右左などの併記は一切不可とする。ただし、普通駒が透明駒によって取られた場合に限り、その位置を表記できる。

3、【着手の原則】

それが不可能であると証明されない限り、双方の手はすべて合法手であり、また先手の手はすべて王手であるとみなさねばならない。

4、【透明駒の可視化】

ある透明駒の位置、種類がともに一意に定まったならば、その時点でその透明駒は普通駒となり、以後透明駒の表記法による制約を受けない。

5、【詰みの定義】

詰み、その他各種の達成条件は証明されねばならない。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2015年6月15日(水)

第72回 WFP 作品展
フェアリー作品 9題

2015年8月15日(水)

第73回 WFP 作品展
フェアリー作品 10題

第73回 WFP 作品展特別出題
フェアリー作品 4題

作品募集一覧

Fairy of the Forest #44

課題：邪魔駒消去の協力詰

投稿締切：2015年7月15日(水)

詳細は、P33をご覧ください。

フェアリー版くるくる展示室

- ・ 盤は9×9、駒は普通の将棋駒及び駒数内（フェアリー駒はとりあえず不可）
- ・ 後手持駒制限 OK
- ・ ルールは何でも OK（協力詰、かしこ詰、打歩詰、自玉詰系、ステイルメイトなど何でも OK）
- ・ 手数制限なし

投稿先は、WFP 編集部

たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp



あとがき

FairyTopIX2014 お気に入り投票結果稿、何とか間に合いました。投票数を確保するのにぎりぎりまで締切を延ばしているため受賞コメント等お送りいただくのに時間がなくて申し訳ありません。細かい解説なども入れればいいのですが、如何せん時間がありません。

今日（20日）も、原稿書こうとしたら急な不幸事が入り告別式に参加。その後体調が悪いので内科に直行と踏んだり蹴ったり。間違いや不備がありましたら改訂時までには修正しますので事務局まで連絡下さい。

嬉しい話題とすれば、初孫が我が家に帰ってきました。自分の子供よりかわいいとはよく言ったものでしばらくは孫で癒されそうです。私もとうとうおじいちゃんか・・・。

孫の名前は、「光」。別の意味のキラキラネームと言えるかも。これにちなんだ作品を創りたいな・・・とじじバカでした。

結果稿を読んでの感想、意見、返信等ありましたらメール下さい。改訂時スペースに追加掲載します。（25日前後まで） たくぼん

2015年 第83号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十七年五月号

平成二十七年五月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合せ先 takuji@dokidoki.ne.jp